

2025.3.19 理事会承認
2025.3.27 評議員会承認

令和7(2025)年度

事業計画書

社会福祉法人 恩賜財団 東京都同胞援護会

社会福祉法人 恩賜 財団 東京都同胞援護会憲章（同援憲章）

－ 同援憲章 －

同胞援護会は、敗戦後まもなく戦時下の軍人援護会と戦災援護会の合併を機に全国組織として、日本の社会事業発展を目指して誕生しました。

やがて全国支部組織から独立し、東京都同胞援護会として、戦後の復興事業から新しい社会福祉を目標として生まれ変わりました。

発足において同胞援護会は、「同胞愛」、「四海皆兄弟」、「助け合い」の言葉を基本理念に掲げました。戦後の荒廃した社会にあつて、何よりも国民の復興に向けた精神のよりどころを高く標榜したものでした。

同胞援護会は、戦後の混乱期から幾多の時代の変遷にあつても、変わることなく社会福祉の道を、多くの人々とともに歩んできました。

この精神は現在もなお同胞援護会の理念として、強く受け継がれているものであります。

いずれの時代にあつても福祉は普遍的なものであり、私たちは常に地域の皆様とともに、基本的人権の思想を何よりも尊重し、真の福祉を目指して迷うことなく進んでまいります。

東京都同胞援護会は、これからもこの崇高な理念を基本にして、福祉社会の恵沢を、全ての人々とわかちあうために努めていきます。

－ 基本理念 －

- 1 個人の尊厳をまもり、利用者の意向を十分に尊重いたします。
- 2 利用者の心身の健全と、一人ひとりに応じた自立を支援いたします。
- 3 地域の皆さんと一緒に福祉のまちづくりに努めます。

－ 基本方針 －

- 1 利用者の立場に立ってサービスを考えます。
- 2 利用者のため質の高いサービスを提供します。
- 3 笑顔と挨拶と礼儀を大切にします。
- 4 透明で開かれた施設を目指します。
- 5 健全な施設経営を目指します。

目次

I	2025年度 事業計画	1
	1. 本会の経営における2025年度の重点項目	2
	2. 本会の行動指針に関わる重要課題	2
	3. 中長期計画の行動指針に基づく2025年度の重点項目	2
	4. 2025年度の主要な施設整備計画	5
	5. 2025年度 運営施設(事業)一覧	6
II	事業 経営	8
	1. 保育支援系施設の経営	8
	2. 高齢者支援系施設の経営	20
	3. 障害者支援系施設の経営	40
	4. 児童・女性支援系施設の経営	50
	5. 医療事業施設の経営	57
	6. 収益事業の経営	60
	7. 社会貢献事業	61
	8. 人材育成事業	62
III	職員福利厚生制度ならびに職員研修制度	63
IV	評議員会及び理事会	68
V	事務局主要業務	69
VI	施設長会及び各種委員会	70

I 2025年度 事業計画

2025年は団塊の世代が全員75歳に達し、人口の約2割が後期高齢者となります。我が国の一般歳出予算全体の約3割を占めている社会保障関係費は、薬価の引き下げや高額療養費の見直しなどが議論される一方で、年金スライド分や子供のための教育・保育給付の増額をはじめ、児童手当等の拡充などにより過去最大の38兆2,778億円となり、前年度に比べて5,585億円が増額されました(政府予算案ベース、国会で修正が入ったかどうかは本文記載時点では不明です)。

東京都は、018サポート(18歳以下に月5,000円給付)の継続実施や無痛分べん費用の助成、保育料の第1子無償化など、引き続き子ども支援策に力を入れる一方で、物価高騰などで経営の厳しさが増す地域医療確保緊急支援事業として、新規に総額321億円が予算計上され、福祉・保健分野の歳出予算は10%増の1,611億円が増額されました。

本会としては上記の情勢を踏まえ、中長期計画に添って社会貢献活動や魅力ある未来をつくるための「持続的成長」を目指した経営を行います。一方で、73年の歴史を閉じた養護老人ホーム万世敬老園の建物をはじめ、老朽化の進んでいる特別養護老人ホームニューフジホーム、水防法による洪水対策が課題となっている同援みどり保育園など、同援施設整備10カ年計画を策定し、地域に根差した事業の着実な継続に取り組みます。

事業実施にあたりましては、利用者の安全・安心の確保を第一に目指すとともに、業務の高度化・効率化を目指してDXの推進に努めます。情報技術を活用できるIT人材の育成を行うとともに、デジタル技術を用いたサービスの向上、業務の効率化に取り組みます。その結果として人にやさしい職場環境を実現するとともに、利用者個々のニーズに即した温もりのあるサービスの提供に努めます。

2024年度最後の時期に、本会の施設内にて職員の利用者に対する虐待行為が複数発生してしまいました。一つは利用者の身体拘束であり、もう一つは暴行により重症を負わせるなど、過去に例を見ない深刻な事態です。本会がこれまで築いてきた信頼を深く裏切るものであり、その存立を揺るがせかねない重大な事態と受け止めています。2025年度は、こうしたあってはならない虐待の再発を防ぐために、本会のサービスのあり方のみならず、その体質も含めて見直し、改善する覚悟で全力を尽くしてまいります。

新規事業としては、杉並区南部の地域ニーズに根差した都有地活用による障害者支援施設「リーフぽけっと」(生活介護40名、短期入所2名)、グループホーム「リーフベース」(2ユニット10名)を開園します。「リーフ」とは英語の「leaf」で一枚一枚の植物の葉を意味しています。お一人おひとりを大切にしたいとの想いから名付けました。この施設では、障害のある方の多様な価値観や障害特性に合わせた地域生活が継続できるよう、家庭での生活が困難になった時や高齢化により生活環境が変化した場合を視野に入れて将来につながる支援サービスを提供します。また地域交流スペースを併設し、障害の有無によって分け隔てられることなく社会の一員として安心して生活が送れるよう地域に根差した運営を目指します。

次に、福祉人材の育成と職場環境の整備については、本会職員の最も大切な心得として日頃から伝えている「人を大切にする」(職員が互いに一人ひとりの人格を尊重し合い、信頼関係で結ばれ、安全・安心な職場づくりを進める)ことを再認識し、成熟した人材となるように育成し、ハラスメントのないことを含む働きやすい職場づくりを進めます。また職場環境の整備としては、初任給の引き上げ、最大16,500円のベースアップ、令和10年度から移行する65歳定年制の準備のための再雇用職員の待遇改善及び一部の臨時職員の退職共済制度の見直しを行います。各施設では職員の待遇改善に相応のサービスの質向上に努めてまいります。

財務基盤の強化については、老朽化した施設の建替えのための財源確保や賃金の上昇を見据え、社会福祉事業を安定的に支える収益事業として、事業局による新規顧客の開拓をはじめ、不動産賃貸事業の適正な管理や確実な資産運用を進めます。また業務委託の見直しなど経費削減の具体化に努め、持続可能な財務体質の強化を図ってまいります。

昭島病院については、コロナ禍から始まった外来患者の受診控えは回復が遅々としており、物価上昇による実質的所得減少の影響などにより、高齢者層を中心に恒常的な受診控えによる収益の減少が現在も続いています。物価高騰や人件費の上昇は、2025年以降も引き続き病院経営に大きく影響していくことを見据えて医療の質や安全、持続可能な医療提供体制を確保するため、病院経営再建計画を策定しました。地域包括ケアシステムの中心となり、地域住民や周辺医療機関から「頼られる」存在となることを目指し、集患及び病床稼働の安定化や在宅医療支援部門の拡充に取り組んでまいります。

本年度も役職員一丸となり、利用者の皆様や地域の方々から信頼される法人であり続けるために精進してまいります。

2025年4月1日

社会福祉法人 恩賜財団東京都同胞援護会
理事長 飯山 幸雄

1. 本会の経営における2025年度の重点項目

- ・事業の着実な継続
- ・利用者の立場に立った質の高いサービスの提供
- ・安定した財務基盤の確立
- ・人材の確保と育成
- ・経営組織体制の強化
- ・社会貢献活動への取組み
- ・虐待防止を目的とする体質改善の取組み

2. 本会の行動指針に関わる重要課題

◆ 虐待の再発防止の徹底

- ・様々な勤務形態が混在する夜間の雇用形態を見直します。
- ・職員にとって負担が大きい夜間の一人勤務に対処するため、担当する職員のスキルを向上させ、職務を適切にサポートし、虐待が起きにくいチェック体制を整備します。
- ・法人全体の虐待防止を推進する仕組みを構築し、これまでの施設での虐待防止の取組みを支援します。

－ 虐待を生まない改善の取組み －

- ・夜間勤務について、非常勤職員や派遣・業務委託等に過度に頼る現状を見直し、可能な限り正規職員を中心とした体制に改善します。
- ・夜間の一人勤務といった負担の大きい勤務において、職員の負担を減らす連携や協力体制、DX推進等による効果的なサポート、相互チェックによる虐待の発生を未然に防止するための体制を構築します。
- ・虐待が疑われる事態が生じた場合の調査、認定、報告等の一連の手続きを簡易で分かり易く表したマニュアル等を作成します。
- ・法人全体の虐待防止を推進するとともに、個々の施設の取組みを支援する法人の虐待防止委員会を新たに設置します。

3. 中長期計画の行動指針に基づく2025年度の重点項目

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の安全・安心の確保を第一に目指すとともに、デジタル化のための専属の担当部署を新設しDXの推進を図ることと、人にやさしい職場環境の実現とともに利用者の立場に立った質の高いサービスの提供を目指します。
- ・障害者支援施設「リーフぽけっと・リーフベース」を開設し、障害のある方の多様な価値観や障害特性に合わせた地域生活が継続できるよう、また家庭での生活が困難になった時や高齢化により生活環境が変化した場合を視野に入れて将来につながる支援サービスの提供を目指します。
- ・老朽化した施設の移転改築計画の具体化を進め、活動基盤の強化を図ります。
(本会の10ヵ年施設整備計画を作成します。)

－ 生活環境・利用環境向上の取組み －

- ・保育室水回り修繕（むさしの保育園、昭和郷保育園）
- ・空調設備整備（特別養護老人ホーム原町ホーム）
- ・介護支援ソフト更新（介護保険施設5施設）
- ・機械浴槽入替（特別養護老人ホームゆたか苑、障害者支援施設さやま園）
- ・浴室改修（女性自立支援施設自立ホームいこい）

◆ 人材の育成と職場環境の整備

－ 生産性の向上に向けた職場環境の見直し －

- ・人事考課の考課者を対象に「1on1ミーティングスキル」を実践します。
- ・一般職員に対してはメンタルトレーニング研修等を実施することで、「しなやかな心」を持ち、業務パフォーマンスの向上を目指す研修を行います。
- ・デジタル技術を活用し、従来業務の見直しを行います。

－ 給与規程の見直し －

- ・職員処遇改善手当を見直すとともに給与のベースアップを行い、賃上げ等の確実な処遇改善を目指します。
- ・56歳以上の職員に対する賞与支給率について、令和10年4月(65歳定年への移行時期)まで減少を凍結します。

－ 人事考課の適正な実施 －

- ・人事考課の考課者を対象とした「考課者マネジメント研修」を継続します。
- ・各グループで定めた「求める職員像」に基づき、適切に人事考課を実施します。

－ 人材の確保 －

- ・オンラインでの採用説明会及び採用試験を実施します。
- ・対面式の就職説明会からウェブ上での説明会へシフトするため、求人説明動画を新たに制作します。ホームページ、動画サイトを活用するだけでなく、各種養成校に対してもオンラインで説明会を行います。
- ・外国人、障害者及び高齢者の雇用拡大に取り組みます。

－ 人材の育成 －

- ・管理職員の組織マネジメント力を高め、職員の能力を最大限発揮させます。
- ・専門的技術の習得及び習熟ならびに利用者の人権擁護の徹底を図ります。

－ 人材の定着に向けた取組み －

- ・各種ハラスメントがない職場を目指します。
- ・非正規職員の正規雇用転換を積極的に進めます。
- ・安全衛生方針に基づき、職員の災害を防止する取組みを行います。
- ・男性の育児休業を促進します。

－ 多様な働き方へ向けた取組み －

- ・臨時職員退職金加入要件を改正します。育児・介護休業法の改正に対応した柔軟な働き方を実現できる制度について、さらに短時間勤務職員、週休3日制の導入、副業制度の導入等多様な働き方ができる制度とするよう検討します。

－ 職員の災害防止 －

- ・業務災害及びヒヤリハット事案を分析し、職場における危険因子を除く取組みを実践します。
- ・自転車通勤時の事故防止のため、ヘルメット着用を促します。
- ・介護機器を適切に使用し、身体的な負担を軽減させます。

－ ICT人材の育成 －

・事務局にDX推進担当を配置し、デジタル技術を活用することで利用者支援方法及び各業務を見直し、組織改革並びに職員の意識改革を目指します。
・DX推進委員会を中心に、各グループ施設で確実に実践できる体制を構築します。
・各施設におけるDX推進委員の育成を行います。

－ 心身状況に応じて働ける場づくり －

・ストレスチェック、EAP(従業員支援プログラム)サービスに加え、GLTD(団体長期障害所得補償保険)に加入し、職員が安心して働ける職場づくりを推進します。
・職場におけるハラスメントに対する相談体制を強化するとともに、ハラスメントを起こさせない職場づくりを目指します。

◆ 法人組織・マネジメント強化

－ ガバナンスの強化・コンプライアンスの徹底 －

法人の全施設が、事業運営上遵守しなければならない法令及び基準等を正確に理解し、適正な事業執行管理を継続して行います。また内部検査体制を強化するとともに、虐待防止委員会を設置します(2ページ「2.本会の行動指針に関わる重要課題参照」)。

－ 危機管理体制の強化 －

・施設における感染症予防対策として、衛生管理を徹底します。
・新型コロナウイルス感染症及び防犯体制整備を含む、実効性のある事業継続計画(BCP)の策定及び見直しを行い、計画に基づく訓練を通して強化を図ります。
・感染症クラスター発生時及び災害時には緊急対応対策室を立ち上げ、各グループと連携しながらリスクの拡大を防ぎます。

－ 財務規律の強化 －

・実績に応じた予算を作成し月次予算による厳格な執行管理を行い、法人全体の財務基盤の強化を図ります。
・法人のスケールメリットを活かした運営費の弾力運用を行い、財務基盤の強化(施設整備財源確保や運用等)を図ります。
・特別養護老人ホームの収支改善(人員配置・稼働率・加算取得・経費削減)に取り組みます。
・業務委託を含む固定費の見直しを行います。
・事務用品や日用品などの物品調達の一元化や光熱水費の契約先変更などを適時適切に行い、コスト削減に努めます。
・収益性の高い集合住宅賃貸事業の安定的な経営を行い財務基盤の強化を目指します。
・物価高に備え収益事業の収益率向上に努めます。

－ 情報発信の取組み －

・魅力ある広報のあり方の検討を通じて、本会のブランディングの推進を図ります。
・保育支援系グループにおいては、ホームページのバージョンアップを行い発信力を強化します。

－ DXの推進 －

・DXの推進により、利用者の方々へのより質の高いサービス提供と、職員の負担軽減を目指します。
・介護記録のデジタル化に取り組み、現場での情報共有を円滑にします。
・ICT(情報通信技術)を活用した研修を行い、職員のスキルアップを支援します。
・情報セキュリティハンドブックを活用し、情報セキュリティ対策の強化に努めます。
・施設においては見守り機器等の導入の推進により、利用者支援の向上に努めます。
・AIの導入を行い、業務の効率化と生産性の向上に努めます。

4. 2025年度の主要な施設整備計画

- ・ 原町ホーム「空調設備整備」

目的： 老朽化により空調設備の更新を行う。健康に配慮し、より快適な居住環境を提供するため整備する。

時期： 4～6月

金額： 31,146千円

財源： 当期事業収入／前期末支払資金残高(繰越金)

- ・ 介護保険施設「介護支援ソフト更新」

目的： 現行の支援ソフトの契約期間終了に伴い、最新のDX導入を見据えた互換性を考慮し、より効率的なソフトを導入する。

時期： 7～9月

金額： 17,293千円

財源： 当期事業収入

- ・ 昭島病院「電子カルテ用PC／医療機器入替」

目的： 耐用年数到来のため機器の入替を行う。

金額： 電子カルテ用PC(×105台) 11,760千円(7～9月)

高圧蒸気滅菌装置 RO水製造装置システム 21,230千円(10～12月) ほか

財源： 当期事業収入

- ・ 自立ホームいこい「浴室改修」

目的： 老朽化とともに、利用者のニーズの変化に合わせて改修を行う。

時期： 10～12月

金額： 9,900千円

財源： 当期事業収入

- ・ サンライズ武蔵野／むさしの保育園(合築建物)「大規模修繕」

目的： 竣工より14年目を迎え、今後も長期にわたって建物を良好に維持管理していくために、外壁や屋上防水、空調設備の更新を中心に大規模修繕を実施する。

時期： 3月

金額： 1,336千円(2カ年計画1%分)

財源： 施設整備補助金(東京都／補助協議申請中)／当期事業収入

5. 2025年度 運営施設(事業)一覧

グループ名	種別	施設名	定員	職員数					
				正規職員	契約	非常勤	合計		
保育支援系施設	保育所	むさしの保育園	169	35	2	26	63		
		本園	140						
		方南分園	29						
				昭和郷保育園	100	21	4	16	41
				大山保育園	130	28	1	18	47
				昭和郷第二保育園	196	28	4	27	59
				みなと保育園	63	17	0	9	26
				同援みどり保育園	125	24	3	15	42
				つつじが丘保育園	110	21	2	21	44
				同援さくら保育園	110	27	1	17	45
				同援はいじま保育園	50	13	2	13	28
				同援いぐさ保育園	60	11	0	13	24
		保育施設計		1,113	225	19	175	419	
高齢者支援系施設	救護施設	昭島荘	100	29	10	15	54		
	軽費老人ホーム	サンホーム	50	12	2	8	22		
	小計		150	41	12	23	76		
	特別養護老人ホーム		フジホーム	100	38	7	19	64	
			ニューフジホーム	100	38	9	20	67	
			原町ホーム	50	19	8	7	34	
			ゆたか苑	50	25	2	12	39	
			ひかり苑	50	20	9	16	45	
	小計(介護施設)		350	140	35	74	249		
	短期入所生活介護(予防)事業 ※専用数(空所利用数)		フジホーム	(6)	4	—	—	—	
			ニューフジホーム	(6)	4	—	—	—	
			原町ホーム	(4)	2	—	—	—	
			ゆたか苑	(4)	4	—	—	—	
			ひかり苑	(5)	4	—	—	—	
	認知症対応型老人共同生活援助事業(グループホーム)		グループホームかえで	18	2	5	8	15	
			原町グループホーム	18	7	4	6	17	
	通所介護(予防)事業		フジ・デイサービスセンター	25	2	0	12	14	
			東大和市ふれあいデイセンターひかり苑	12	1	3	4	8	
	地域包括支援センター		新宿区榎町高齢者総合相談センター	—	9	1	1	11	
			昭島市中部地域包括支援センターあいぼっく	—	3	1	4	8	
	居宅介護支援事業所		フジホーム	—	3	1	1	5	
			原町ホーム	—	2	0	0	2	
			ゆたか苑	—	1	0	0	1	
	小規模多機能型居宅介護事業		原町小規模多機能居宅介護センター	25	5	2	8	15	
			昭和郷小規模多機能居宅介護センター	25	3	6	5	14	
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		昭和郷訪問介護センター	—	5	3	2	10	
	小計(介護在宅)			141	43	26	51	120	
公益事業		フジホーム診療所	—	—	—	—	—		
		介護職員初任者研修事業	—	—	—	—	—		
		さくらガーデン(サービス付き高齢者向け住宅)	49	1	0	15	16		
高齢者施設計			690	225	73	163	461		

グループ名	種別	施設名		定員	職員数				
					正規職員	契約	非常勤	合計	
障害者支援施設	障害者支援施設（入所）	さやま園	施設入所支援	96	100	61	18	49	128
			生活介護	(96)					
			短期入所	4					
		小茂根福祉園	生活介護	40	70	33	1	3	37
			就労継続支援B	30					
			立川福祉作業所	生活介護					
		就労継続支援B	44						
		就労移行支援	6						
		東村山生活実習所	生活介護	30	40	14	4	16	34
			就労継続支援B	10					
	短期入所		2						
	リーフぽけっと	生活介護	40	2	9	4	0	13	
	短期入所	2							
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ	-	-	16	0	5	21	
	心身障害者福祉センター	さいわい福祉センター	-	-	23	1	49	73	
	共同生活援助事業 *1	共同生活援助事業 *1	アミニティ富士見	6	-	(1)	-	-	
			グリーンハイツ	6	-	(1)	-	-	
			フレンズ・モエ	4	-	(1)	-	-	
			パル	6	-	(1)	-	-	
			それいゆ小川	7	-	(2)	-	-	
			ファーム竹丘1	6	-	(2)	-	-	
			ファーム竹丘2	7	-	(1)	-	-	
			風のね	10	0	3	6	9	
			レゾオンス巣鴨	4	-	(1)	6	6	
			はなみずき	4	-	(1)	1	1	
			ユーカリ	4	-	(1)	5	5	
			夢オハナ	6	-	(1)	-	-	
結オハナ			6	-	(1)	-	-		
リーフベース			10	2	0	7	9		
特定相談支援事業	さやま園	-	2(兼務)	-	-	-			
	立川福祉作業所	-	2(兼務)	-	-	-			
	さくらんぼ	-	1(兼務)	-	-	-			
障害者施設計				420	170	37	160	367	
児童・女性支援施設	母子生活支援施設（世帯）	サンライズ武蔵野	(20)	9	2	9	20		
		緊急一時保護	(1)						
		サンライズ万世	(20)	12	2	4	18		
		緊急一時保護	(2)						
	児童養護施設	双葉園	28	36	1	7	44		
	小規模グループケア地域型ホーム	りんどう	6	7			7		
	小規模グループケア地域型ホーム	わかば	6	6		1	7		
	地域小規模型グループホーム	高鳴の家	6	6			6		
	地域小規模型グループホーム	くすのき	4	6		2	8		
		昭島市子どもトワイライトステイ事業	2			1	1		
	女性自立支援施設	自立ホームいこい	40	13	0	0	13		
児童厚生施設	昭島市児童センターぱれっと	-	2	2	12	16			
児童・女性施設計				92 (43)	97	7	36	140	
施設合計				2,315 (43)	717	136	534	1,387	
医療	病院	昭島病院	199	255	5	112	372		
	訪問看護	昭島病院訪問看護ステーション	-	5	0	2	7		
収益	印刷	事業局	-	14	1	0	15		
	不動産賃貸 *2	不動産賃貸事業	-	-	-	-	-		
	駐車場	病院駐車場	-	-	-	-	-		
合計				2,514 (43)	991	142	648	1,781	

*1 共同生活援助事業の職員数は委託事業のため職員数には含まない。()内の職員数は、委託職員数。
 なお、計画作成担当者はバックアップ施設の職員が兼務する。

*2 南青山集合住宅賃貸業含む。

Ⅱ 事業経営

1. 保育支援系施設の経営

認可保育所を経営します。

1 グループ方針

・社会福祉法人としての責務を果たすため、法人の中長期計画の方針に沿って施設運営を行います。
・保育グループの理念・基本方針・目指す保育を基本とし、保育園に関わる全ての人の安全と安心を守りながら、子どもたちの可能性とミライを広げられる環境づくりに努めます。
・様々な機関、組織と連携・協働を進め、地域社会の子育て支援の拠点としての保育園の役割を果たします。
・SDGs(持続可能な開発目標)に目を向け、各園の状況に合わせて取り組みます。
・施設に通う全ての子どもたちの人権を尊重する観点から、不適切保育、あってはならない虐待の発生を未然に防ぐ取組みに努めます。

2 グループ目標

◆ 利用者支援サービスの充実

・子どもの人権や主体性を尊重し、理念・方針・目標に沿った質の高い保育を展開するために、職員に対する倫理教育を充実させ子どもの生きる力を育てます。
・利用者の安全・安心を守るために感染症対策・災害・防犯に対する事業継続計画(BCP)と安全計画をより実効性のあるものに見直し、訓練を実施します。
・子どもたちの健やかな成長のためにマルチリトメントの早期対応・予防に努めます。

◆ 地域社会への取組み

・インクルーシブな環境づくりに、積極的に取り組みます。
・地域社会の子育ての拠点として、ホームページ等を活用し前進する保育・魅力ある保育を発信しながら、子育て支援の充実を図ります。
・地域ニーズを把握し誰でも通園制度等、新しい子育て支援制度にも柔軟に対応します。
・ボランティアを広く受け入れ、地域拠点活動の充実を図ります。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・職員育成計画に基づき職員の質の向上、多様なサービスを提供できる人材の育成及び研修の充実を図り、職員の定着に努めます。
・各園が取り組んでいる目指す保育の実践発表・ディスカッションを通し、他園の保育環境や取り組みを知り、さらなる保育の充実や人材育成につなげます。
・養成校への積極的なアプローチ、職場体験・ボランティアの充実を図り、新規採用者につなげます。
・心理的安全性を高め、働きやすい職場環境を職員とともに作ります。
・DX関連機器の導入により業務省力化・簡易化を進め、定期的なノンコンタクトタイムの取得を定着させます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・安定運営のために、省エネ対策や経費削減に努めます。
・制度を学び補助金の活用や加算の取得を積極的に行います。
・各保育園の特色ある保育を発信し園の利用につなげます。

令和7(2025)年度 事業計画 (保育所)

施設名 **むさしの保育園**

定員 **169** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
98.7%	97.7%	92.8%	92.2%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・「気持ちに寄り添いみんな笑顔」~やってみたいを大切にする保育~をテーマに小人数保育や保育環境・包括的セクシャリティ等学びと理解を深め、質の高い保育を展開します。
- ・利用者の安全と安心を守るため、BCPと安全計画を基にした机上訓練と実地訓練を実施し、様々なりスクに対応します。
- ・見守りカメラを活用した保育の振り返りを行います。
- ・保護者に保育参加を勧め、子ども達の発達を共有しながら、保護者にとって相談しやすい園となることで、孤育ての防止、虐待の早期対応、予防に取り組みます。

◆ 地域社会への取組み

- ・保育園の資源を有効活用し、共生社会の一員として地域の様々な組織と連携・協働を図ります。
- ・魅力あるホームページを活用し、開かれた保育園をアピールします。
- ・誰でも通園制度(分園)の取組みや母子分離型の育児講座の開催を通して近隣の子育て世帯のニーズを捉え、柔軟な地域活動を行います。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・得意を活かした業務分担や保育を行うことで職員の定着・仕事のやりがいにつなげます。
- ・園内外の研修を充実させ「目指す保育・職員像」に取り組むべく、職員同士の連携を育みます。
- ・中高生の職場体験や実習生、ボランティアを積極的に受け入れ、SNSを活用した人材確保に取り組みます。
- ・DX関連機器の導入を進め、ノンコンタクトタイムの定着に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・部分修繕や機器の買替えを計画的に行うことで業務効率化を図り、経費削減に努めます。
- ・保育の中で見える化したSDGsに取り組み、省エネ対策を継続します。
- ・地域拠点活動に園全体で取り組み、自園で作る質の高い給食をアピールすることで稼働率の維持に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
ウッドデッキ部分修繕	1,540	1F幼児トイレ修繕	4,845	スチームコンベクション	2,397	大規模修繕	440
午睡センサー	1,635	PC(×5)	1,007			(2カ年計画1%分)	
ホームページ制作	715	2F保育室手洗場修繕	600				
園内床修繕 (1階廊下、0.1歳児室)	2,439	園内床修繕 (3.4.5歳児室)	1,626	園内床修繕 (2階廊下、にこにこ)	1,648	園内床修繕 (はらべこ)	983
購入等合計	6,329	購入等合計	8,078	購入等合計	4,045	購入等合計	1,423

令和7(2025)年度 事業計画 (保育所)

施設名 昭和郷保育園

定員 100 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
113.8%	116.3%	114.7%	114.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・同援保育グループで掲げた「目指す保育」「目指す職員像」を職員で共有し実践します。
- ・鉄棒や平均台を用いて子どもの体幹を鍛え体力向上を目指します。
- ・子どもの人権や主体性を尊重し、養護と教育を一体化した保育を実践します。幼児クラスは子ども自らが選択し取り組める選択式保育、乳児クラスは一人ひとりの成長に合わせた少人数制保育を行います。
- ・インクルーシブ保育を実践し、保育園を利用する全ての人に居心地のよい環境を提供します。
- ・保育ドキュメンテーションを利用して保護者に保育の可視化を行い、保育園への理解に努めます。
- ・多様性を尊重し、保護者に寄り添った育児を支援します。
- ・災害・感染症・誤飲誤食等事故の訓練を職員が行い、予防・防止に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・昭島市の医療的ケア児を受け入れ、市や専門機関と連携し安全で質の高い医療的ケア・保育を提供します。また医療的ケア児受け入れ拠点園として、知識や技術向上を目的として、市内の他の受け入れ園と連携・協働します。
- ・病後児保育を広くPRし利用者の増員を目指します。また利用した保護者が安心して働けるよう支援します。
- ・東日本矯正医療センターの研修生を受け入れ学ぶ場を提供し、地域貢献に努めます。
- ・各機関(学校・市・保健センター等)と連携し地域のニーズを収集し、法人の一施設として社会貢献事業に取り組みます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員の人権や個性を尊重し、一人ひとりに合わせた育成を行いながら得意分野を発揮する場を設け、意欲を持って職員が働ける環境づくりを目指します。
- ・職員のアイディアや新しい企画を取り入れ反映させることで、職員のやる気向上につなげます。
- ・各クラスの業務状況を各リーダーが把握しリーダー間で連携を図り、業務の見直しや効率化を進めます。
- ・「保育の中身を話しチーム力を上げよう！」をコンセプトに、職員間で日頃の保育について話し合いを持つ時間を多く設けます。互いに保育を語り合い、保育を共有することで人間関係を築き、風通しのよい職場環境をつくります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・安定した運営に向けて稼働率の維持に努めます。
- ・SDGsの取組みを園全体で行い、経費削減のため省エネに取り組みます。
- ・地域活動事業等への取り組みや、各種補助金の利用を進めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
安田式鉄棒一式	847	電動式巻上テント	752				
0歳児保育室床修繕・シンク交換	2,574						
ノートPC(×4)	800						
空調機室外機修繕	657						
購入等合計	4,878	購入等合計	752	購入等合計	0	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画 (保育所)

施設名 **大山保育園**

定員 **130** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
98.0%	98.4%	100.6%	100.2%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・子どもの人権や主体性を尊重した質の高い保育を展開するために、職員に対する倫理教育を充実させ子どもの生きる力を育てます。
- ・乳児クラスは小人数保育を取り入れ、一人ひとりの気持ちに寄り添い丁寧な保育を行います。幼児クラスは子ども達が主体的に活動できるように見守るとともに、環境(物的・人的)を整え支援していきます。
- ・利用者の安全・安心を守るために、感染症対策・災害・緊急時の事業継続計画(BCP)・安全計画をより実効性のあるものに見直し、訓練を行います。
- ・子どもたちの健やかな成長のためにマルチトリートメントの早期対応・予防に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・インクルーシブな環境づくりに取り組みます。
- ・様々な機関、組織との連携・協働を通して、地域社会の子育ての拠点としての保育所の役割を果たします。また地域との関わりを大切にし、近隣の保育園とも連携します。
- ・要支援児の受け入れや育児困難家庭への対応に積極的に取り組み、虐待等の心配のある場合も適正な対応を行います。また保育の専門性を活かし、子育て支援の充実を図ります。
- ・地域のニーズを把握し、新しい子育て支援制度に柔軟に対応します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・「目指す保育・職員像」の実現に向け、園内外の研修の充実を図り、多様なサービスができる人材を育てます。
- ・養成校への積極的なアプローチや職場体験、ボランティアの充実を図り、新規採用につなげます。
- ・人材育成を適切に行うことで安心して働ける職場環境を作り、職員の定着に努めます。また心理的安全性を高め、働きやすい職場風土を目指し、園全体でさらなる改善を行います。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・資源の節減・節約を心掛け、経費削減に努めます。(SDGs)
- ・制度を学び補助金の活用や加算の取得を積極的に行い、安定した経営につなげます。
- ・特色ある保育を発信することで園の利用につなげ稼働率維持に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
空調機洗浄	1,040			モバイルPC(×3)	600		
購入等合計	1,040	購入等合計	0	購入等合計	600	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画 (保育所)

施設名 昭和郷第二保育園

定員 196 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
104.2%	103.2%	99.0%	99.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・保育グループの「目指す保育」の学びを深め、「実体験」「共主体」「応答的」に着目しながら、保育のアップデートを行います。
- ・定員増、小規模化保育のスタートに伴い、各プロジェクト(小規模化、すくわく、運動遊び、アート、食育、IT等)を立ち上げ、それぞれの推進とチーム同士の連携を通して、サービスの質の向上につなげます。
- ・すべての子どもに必要な支援を必要なだけ提供する、多様性・個性を尊重するインクルーシブな保育を目指します。
- ・保育園に係る全ての人の安全と安心を守るために災害に対する実効性のある事業継続計画(BCP)・安全計画を見直し、訓練を実施します。
- ・保育システムアプリを利用したり、保護者と保育や子育ての話をする機会をもち、さらなる保育園理解と満足を広げます。

◆ 地域社会への取組み

- ・一時保育(一般型)ではそれぞれの家庭に合わせた柔軟な受け入れを行い、いつでも頼れる場所を目指します。
- ・卒園児や家族ボランティアを受け入れボランティアの輪を広げ、地域拠点活動としてつながりのある子育て支援に努めます。
- ・身近な題材を中心とした育児講座を動画配信で提供したり、育児相談・保育所体験・園庭開放等の園の特徴的な取組みや新たな取組み、保育の流れをSNS・ホームページ等で発信することで、入園につなげます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・「目指す保育・職員像」の浸透に向けて、園内研修の充実を図ります。また、積極的にキャリアに合わせた資格・認定の取得の仕組みを利用し、職員のキャリアデザインをバックアップします。
- ・職員が互いの得意不得意を理解し、それぞれの力を発揮し全体の組織力を上げます。その中で、心理的安全性・共主体を重視することで、働き甲斐のある職場づくり、人材の定着に努めます。
- ・ノンコンタクトタイムを推進し、業務効率化の意識向上を図ります。
- ・実習生や養成校ボランティアの受け入れを積極的に行い、採用につなげます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・安定した運営を目指し、稼働率の維持に取り組みます。
- ・待機児解消に向けた定員増となるため、稼働率をあげ、安定した収入を得られるように努めます。
- ・職員一人ひとりの地球環境への配慮、SDGsへの認識を高めながら、経費削減にもつなげます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
PC(×5)	1,000	スチームコンベクション	2,750				
外壁木部メンテナンス	1,073						
北園舎修繕	920						
購入等合計	2,993	購入等合計	2,750	購入等合計	0	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画（保育所）

施設名 **みなと保育園**

定員 **63** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
91.6%	83.3%	74.0%	80.4%

◆ 利用者支援サービスの充実

・「良い所を見つけて 認め合う」をテーマに、子どもの人権や主体性を尊重し理念・方針・目標に沿った質の高い保育を展開するために、職員の倫理教育を充実させ、子どもの生きる力を育てます。
 ・職員みんなで保育をしているという温かさを常に持ち、少人数で家庭的な保育につなげます。
 ・子どもたちが安心して過ごせる環境を整え、感染症対策・災害・防災に対する事業継続計画(BCP)・安全計画をより実効性のあるものに見直し、訓練を実施します。
 ・子どもたちの健やかな成長のために、マルトリートメントの早期対応・予防に努めます。

◆ 地域社会への取組み

・地域に向けた育児相談や育児講座等の子育て支援の充実を図り、ホームページを活用して活動内容を発信し園の利用につなげます。
 ・地域のニーズを把握し、様々な機関、組織との連携・協働を通して地域社会における子育ての拠点としての保育所の役割を果たすとともに、新しい子育て支援制度にも目を向け対応します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・「目指す保育・職員像」の実現に向け、職員の質の向上や多様なサービスを提供できる人材の育成を目指し、園内外の研修に積極的に参加します。
 ・職員間でお互いを認め合い、心理的安全性を高め、働きやすい職場環境を職員とともに作り、人材の定着に努めます。
 ・実習生・ボランティアを柔軟に受け入れ、人材確保につなげます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・安定した運営を行うために、稼働率の維持と職員の適正配置を行います。
 ・待機児童減少による定員未充足や物価高騰などのリスクに備えた施設運営の見直しを行います。
 ・資源の節約・節減を心掛け、経費削減に努めます。(SDGs)
 ・特色ある保育(少人数保育・縦割り保育・英語指導など)を発信し、園の利用につなげます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
避難スロープ修繕	1,837						
購入等合計	1,837	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画 (保育所)

施設名 **同援みどり保育園**

定員 **125** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
104.0%	100.8%	102.3%	102.2%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・子どもの人権や主体性を尊重し保育グループが「目指す保育」を実践し、「生きる力・心の育ち」を育みます。
- ・乳児期は少人数での保育を実践し、応答的な関わりを大切にします。幼児期は心を動かす様々な遊びや実体験を通し、子どもの主体性を大切にします。
- ・保育の専門性を活かし、保護者の気持ちを受け止めながら相談、サポートを行います。
- ・日々安全・安心な環境を整えるとともに、感染症・自然災害・防犯等の緊急時に備えた対応ができるように実効性のある事業継続計画(BCP)と安全計画の見直し及び訓練の実施を行います。
- ・園舎建て替えに向けて、利用者や働く職員にとって安全・安心で、目指す保育を体現できる環境となるよう具体的に計画していきます。

◆ 地域社会への取り組み

- ・様々な機関、組織との連携・協働を通して、地域社会の子育ての拠点としての保育所の役割を果たします。また、地域との関わりを大切にし、近隣の保育園とも連携します。
- ・要支援児の受け入れや育児困難家庭への対応に積極的に取り組みます。また、虐待等の心配のある場合も適正な対応を行います。
- ・地域のニーズを把握し、地域に向けて開かれた保育園となるよう努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・園内外の研修(オンライン研修等)に積極的に参加し、非常勤職員を含む職員のスキルアップに努め、保育の質・専門性の向上を図ります。
- ・ノンコンタクト時間を定着させ、事務作業をする時間を確保します。また、業務改善を行い、働きやすい職場環境を職員とともに作ります。
- ・職員間で保育を共有する時間を大切にし、目指す保育・職員像の実現を目指します。

◆ 財務基盤の強化に向けた取り組み

- ・施設整備計画(園舎の建て替え)に向けて、省エネ対策や経費を削減し財務基盤の強化に努めます。また補助金の活用や加算の取得を積極的に行います。
- ・保育園の取り組みを地域にも発信し、園の利用につなげます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
モバイルPC(×6)	1,500	ホームページ制作	700				
3歳児保育室エアコン	550						
購入等合計	2,050	購入等合計	700	購入等合計	0	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画 (保育所)

施設名 **つつじが丘保育園**

定員 **110** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
112.2%	109.6%	108.8%	108.2%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・保育所保育指針に沿った「全体的な計画」を基に、子どもの発達に沿った乳児4クラス編成と幼児縦割り保育の中で子ども一人ひとりに合わせた保育を展開します。
- ・職員間で「目指す保育」についてさらに理解を深め、保護者の保育参加・参観を引き続き行い、保育の理解につなげます。
- ・様々な実体験を通して、子どもの生きる力・感謝の気持ち・愛情を育てます。
- ・子どもたちの健やかな成長のために、マルトリートメントの早期対応、予防に努めます。
- ・感染症対策にも対応した事業継続計画(BCP)・安全計画を見直しながら訓練を実施します。
- ・保育システムアプリをさらに活用し、保護者とよりスムーズに情報共有を図り、利用者サービスに努めます。
- ・SDGsの理解を深め、保育の中で継続して実践します。

◆ 地域社会への取組み

- ・様々な機関、組織との連携を強化して、地域社会の子育て支援の拠点としての保育所の役割を果たします。
- ・地域に向けて、新しくなったホームページを活用し、入園につなげます。
- ・地域の高齢者施設や自治会などの関わりについて、新たな方法を模索し、保育の中で日常的に関わりを持つことで優しさや思いやりの気持ちを育てます。また、地域に根ざした園として互いに声を掛け合える関係性を構築します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・倫理教育・研修の充実を図り、職員育成計画に基づく職員の質の向上、多様なサービスを提供できる人材の育成を目指します。
- ・引き続きDXを進め業務改善を図り、働きやすく居心地の良い職場環境整備を進め、人材の定着に努めます。
- ・ホームページを活用し職員採用につなげます。最近では卒園児が実習生や職場体験希望者として来園を希望するケースもあるため積極的に受け入れ、養成校とも情報を共有し、より良い人材の確保に努めます。また近隣の中学校のボランティアの受け入れも定着しつつあり、そこから将来の保育士、福祉人材の確保へとつなげられるように積極的に取り組みます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・地域に根ざした保育園としての取り組みを引き続き行い、入園につなげます。
- ・今後の施設整備を見据え、安定した経営につなげます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
食器洗浄機・製水機	1,199						
乳児用園庭遊具	835						
ファーリングシード	1,067						
PC(×5)	1,250						
購入等合計	4,351	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画（保育所）

施設名 同援さくら保育園

定員 110 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
100.3%	99.5%	99.4%	99.9%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・子どもの人権と主体性を尊重した保育を実践し、子どもの生きる力を育てます。
- ・乳児期は小人数の保育を実践し一人ひとりに丁寧に対応します。
- ・利用者の安全・安心を守るために、あらゆるリスクに対する事業継続計画(BCP)、安全計画の訓練実施と見直しを行い実効性を高めます。
- ・子どもの健やかな成長のためにマルトリートメントの早期発見・予防に努めます。
- ・休日保育で利用する乳児保育室の隣にある乳児トイレに幼児用の個室のトイレを設置し、利便性を高めます。また、幼児用のロッカーや2歳児ロッカーが経年劣化で修理ができないため入れ替えます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域に向けて、園庭開放・育児講座・一時保育・定期一時保育等を通して遊びの場を提供し、また子育ての不安や悩みの解消等、保護者の育児負担の軽減に努めます。
- ・小・中・高生の職場体験や学生ボランティアを広く受け入れ、保育園の役割等の理解へつなげます。
- ・ホームページを活用し地域へのPRや採用活動につなげます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・保育グループの「目指す保育・職員像」の実現に向け、園内研修を通して職員間の意識を深めていきます。
- ・職員育成計画に基づいた研修の充実、キャリアに合わせた資格・認定を職能要件として明確にし、計画的なキャリアアップにつなげます。
- ・非常勤職員へ向けての園内研修(OJT)を定期的実施し、業務の標準化を図ります。
- ・働きやすい環境や、満足感・安心感のある職場風土を構築していくことで、職員の定着を目指します。
- ・ICTを活用し定期的なノンコンタクトタイムの取得を定着させます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・物価が高騰する中でも省エネ対策や経費の削減をできるだけ行い、財務基盤の強化に努めます。
- ・特別事業や保育内容の特色を明確にし、園の利用につなげていきます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
PC(×5)	1,010	保育室幼児ロッカー	2,500			スチームコンベクション	1,574
乳児トイレ修繕	1,000						
購入等合計	2,010	購入等合計	2,500	購入等合計	0	購入等合計	1,574

令和7(2025)年度 事業計画 (保育所)

施設名 **同援はいじま保育園**

定員 **50** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
115.3%	117.5%	113.0%	114.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・保育グループが「目指す保育」を職員間で共有し(職員も交代が多かったため)、同援はいじま保育園としての保育の定着を図ります。
- ・子どもたちの健やかな成長のために、マルチリトメントの早期対応、予防に努めます。
- ・保育園に関わるすべての人の安全と安心を守るため、災害に対する実効性のあるBCP、安全計画の見直しをするとともに防災協定や地域との連携について確認し、訓練を実施します。
- ・加配保育士の仕事を明確にし、十分な支援ができるようクラス担任の配置を適正に行います。
- ・すくわくプログラム補助金(150万)を活用し、子どもの探求心を育てるために環境を整えます。

◆ 地域社会への取組み

- ・障がい児や育児困難家庭へのサポートを行うため、専門的な知識を学び(巡回指導・チャイルドフット・ラボ)、専門機関との連携、協力を密にして適切な援助をします。
- ・散歩時などに、地域の親子に声を掛けながら保育所体験や地域向け行事にお誘いし、保育の専門性を生かした子育てで支援を行うように努めます。また、ホームページや動画配信などを使って園の様子を伝え、見学や保育所体験への参加などにつなげます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・「目指す保育・職員像」の実現に向けて、正規・非常勤職員と一緒に取り組んでいける環境を作り、同援はいじま保育園としての保育を確立していきます。また、園内研修などの直接保育に生かせる研修への参加を通して、職員に必要な知識や技術の維持・習得に努め、専門性の向上を図ります。
- ・キャリアアップ研修の受講を促します。
- ・ボランティア・学生の職場体験・実習生などを積極的に受け入れ、新規採用につなげます。
- ・ノンコンタクトタイムの定着や業務時間内にできなかった仕事の超勤申請を計画的に行い、ワークライフバランスの適正化を図ります。
- ・DXの取り組みを理解し、効率化に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・安定した運営を目指し、稼働率の維持に取り組むとともに、経費削減のための省エネに取り組めます。
- ・中長期計画をもとに施設整備を無理なく行います。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
PC(×2)	500			2F保育室壁紙張替え	537		
購入等合計	500	購入等合計	0	購入等合計	537	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画 (保育所)

施設名 同援いぐさ保育園

定員 60 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
—	45.0%	69.6%	81.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・理念・方針・目標に添った質の高い保育を展開するために、職員に対する倫理教育を充実させ、子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの生きる力を育てます。
- ・子どもたちが主体的に様々な遊びや活動ができるように、子どもの気持ちに寄り添い応答的な関わりを持つ事で、自己肯定感を育てます。
- ・保護者の保育体験を積極的に呼びかけ、自園の取り組み、方針などをより具体的に把握してもらい、ともに育ち合います。
- ・日々、安全・安心な環境を整えと共に感染症・災害・防犯に対するBCP(業務継続計画)・安全計画の訓練を実施し実効性を高めます。
- ・子どもたちの健やかな成長のためにマルチリトメントの早期発見に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・インクルーシブな環境づくりに積極的に取り組みます。
- ・様々な組織との連携・協働を図りながら、地域子育て支援の拠点となるよう、保育所としての役割を果たします。
- ・ホームページを活用し、地域に向けて育児講座や保育所体験・子育てカフェをアピールすることで、入園前から園とのつながりを作り子育てを支援します。
- ・ボランティアを広く受け入れ地域拠点活動の充実に努め、職員の新規採用にもつなげます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・「目指す保育・職員像」の実現に向けて、園内外の研修を充実し、多様なサービスと質の高い保育を提供できる人材を育成します。
- ・職員一人ひとりが主体的に園を作り上げていくことで、やりがいにつながります。
- ・DX関連機器の導入により、業務省力化・簡素化を進め、ノンコンタクトタイムの取得を定着させます。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・特色ある保育を発信し、稼働率の向上につなげます。
- ・制度を学び、補助金の活用や、エネルギーや資源に対し「つかう責任」を自覚し、経費の削減に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2. 高齢者支援系施設の経営

救護施設、軽費老人ホーム、特別養護老人ホーム、その他事業（認知症対応型共同生活介護、通所介護、地域包括支援センター、居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護施設、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、サービス付き高齢者向け住宅）を経営します。

1 グループ方針

- ・法人の中長期計画（第3期）の達成に邁進します。
- ・稼働率100%を目指します。
- ・超高齢社会を見据えたミライ委員会計画を実行します。
- ・利用者の尊厳の保持を起点とした介護サービス、支援を提供します。
- ・各地域の中で、介護・福祉の拠点施設としての役割を果たします。
- ・安心して働ける生産性の高い職場環境をつくります。
- ・安定した事業所経営に努め、SDGs「持続可能な開発目標」に関わる取組みをします。
- ・人を大切にする想いを核に据え、施設を利用する全ての高齢者の人権を尊重する観点から、不適切ケア、虐待の起こりえない事業所を創ります。

2 グループ目標

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の尊厳の保持を起点とした介護サービス・支援を提供します。
- ・倫理並びに法令遵守のための教育を充実します。
- ・資格取得のサポート、職員のキャリア形成を通じ、専門性向上を推進します。
- ・ICT、ロボット等を積極的に支援に活用します。
- ・満足度の高い食事サービスの提供について検討します。
- ・ニューフジホームの建替え等について検討します。

◆ 地域社会への取組み

- ・各地域の中で、介護・福祉の拠点施設としての役割を果たします。
- ・共生社会の構築のため地域社会の一員として、地域課題の解決へ向けて取り組みます。
- ・グループ内の連携によるシームレスなサービス提供体制を構築します。
- ・生活圏における他法人等との連携並びに支援に努めます。
- ・有事における避難所等としての機能構築に向けて取り組みます。
- ・地域における公益的な取組みを積極的に実践します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・安心して働ける生産性の高い職場環境をつくります。
- ・等級基準に応じた人材の確保、育成、定着に努めます。
- ・外国人職員を積極的に採用し、研修・OJTを通じ、多様性を尊重した職場風土を目指します。
- ・各事業所からの積極的な情報発信を行います。
- ・これからのグループに適した、採用、育成、配属、処遇について検討します。
- ・業務の標準化のため、ジョブディスクリプション（責任シート）を作成します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・安定した事業所経営に努め、SDGs「持続可能な開発目標」に関わる取組みをします。
- ・安定した事業経営のため、目標稼働率と目標値の達成と計画的な支出に努めます。
- ・コンプライアンスに対する意識を高めます。
- ・感染症等のリスクについて備えます。

1 救護施設

身体や精神に障害があり、経済的理由も含めて日常生活を送ることが困難な人たちが、健康に安心して生活できるよう、生活扶助、医療扶助を行います。

2 軽費老人ホーム

60歳以上で生活費に充てることのできる収入が定められた基準以下で、身寄りのない、あるいは家庭の事情によって家族との同居が困難な方に利用契約により無料又は低額な料金で、日常生活に必要な便宜を供与します。

3 特別養護老人ホーム

65歳以上であって、心体上又は精神上著しい障害があるため常時介護を必要とし居宅において継続的な日常生活が困難な方を養護します。

4 認知症対応型共同生活介護事業

65歳以上で、認知症であるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、共同生活する住居で入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の援助を行います。

5 通所介護事業

65歳以上であって、日常生活を営むのに支障がある方に、通所により入浴・食事の提供・機能訓練等各種のサービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上並びにご家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ります。

6 地域包括支援センター

地元区市からの委託により、高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らせるように、介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的な支援を行います。

7 居宅介護支援事業

介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるように、ケアマネージャー（介護支援専門員）が心身の状況や生活環境、本人・家族の希望等に沿って、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成したり、ケアプランに位置づけたサービスを提供する事業所等との連絡・調整などを行います。

8 小規模多機能型居宅介護事業

65歳以上で、身体上または精神上の障害があるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、自宅において、またはこのサービスの拠点へ通い、もしくは短期間宿泊することにより、居宅介護及び機能訓練等を提供します。

9 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、定期的な巡回や随時通報への対応など、心身の状況に応じて、24時間365日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供します。
サービスの提供にあたっては、訪問介護員だけでなく看護師などと連携しているため、介護と看護の一体的なサービスを提供します。

10 サービス付き高齢者向け住宅

「高齢者住まい法（厚生労働省・国土交通省所管）」に基づく、高齢者にふさわしいバリアフリー構造等の住まいで、安心して暮らせる見守りサービス（安否確認、生活相談等）を備えた賃貸住宅を提供します。

令和7(2025)年度 事業計画 (救護施設)

施設名 昭島荘
 定員 100 名

【地域における施設ミッション】

「救護施設」を知ってもらい、様々な視点で「地域」と「施設」が協力関係になれるように取り組みます。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
99.9%	100.5%	100.1%	100.4%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の権利を守り、個別支援計画に基づいた支援を実践します。
- ・利用者からの「声」をしっかり聞き、日ごろから丁寧な対応、適切な支援を提供します。
- ・利用者の活動の場、楽しめる機会を増やし、充実した日常が送れるように支援します。
- ・建物の老朽化が顕著であるが、利用者支援に滞りのないように高圧受変電設備等の修繕を行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・「救護施設」を知ってもらうための取組みを検討し、ボランティアや福祉人材の確保等につなげます。
- ・救護施設で生活している方々が、地域に受け入れられて生活ができるような社会の実現のため、その仕組みづくりや関係機関との連携に努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・介護技術やコミュニケーションの取り方(傾聴、受容等)、最新の福祉の動きなど、業務に必要な技術、知識の修得に努めます。
- ・職員個々に取り組みたいこと、実現していきたいことなど、それぞれ考えていることが実施できる「やりがい」のある職場環境にしていきます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・利用率の100パーセントを維持しつつ、利用者の生活等に充分配慮しながら、適切な予算執行に努めます。
- ・利用者支援サービスの充実を図る一方で、「節約・節電・節水」「3R(スリーアール)」「もったいない」という意識のもと施設経営を行います。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
PC(×13)	3,101			高圧受変電設備修繕	3,465		
介護員室エアコン交換	583			網戸・サッシ修繕	1,422		
購入等合計	3,684	購入等合計	0	購入等合計	4,887	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画 (軽費老人ホーム)

施設名	サンホーム
定員	50 名

【地域における施設ミッション】

地域包括ケアが推進される中で、地域との協働を図り、地域に根差した拠点づくりを目指します。またサンホームの利用者が地域の一員としての生活が継続できるよう支援します。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2024)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
99.7%	99.3%	98.2%	98.8%

◆ 利用者支援サービスの充実

福祉施設と高齢者向け住宅との違いを明確にするために、人的、物的資源を用いて利用者に質の高いケアを提供します。

- ・業務の明確化と役割分担を常に確認し、様々な業務を円滑に引継ぐとともに、業務効率化のためICTを活用しケアの質の向上を目指します。
- ・ニーズの多様化や要介護者が増加する中においても、常に人権に配慮し、本人が望む暮らしや豊かで潤いのある生活を継続できるように支援します。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るためにも、自然災害および感染症に対する事業継続計画(BCP)の推進と随時見直しに努めます。
- ・利用者の生活の維持向上を目的とし、積極的な介護予防やフレイル予防活動に努め、必要な施設整備を行います。

◆ 地域社会への取組み

地域施設や他法人との連携を強化し、自施設にとどまることなく、幅広い支援を提供します。

- ・地域交流として、近隣住民や施設、学校等と協力して、人と人、施設と人がつながる取組みを考え、実践します。
- ・地域貢献事業である小平給食とサンホーム給食について、利用者数の増を目指して取り組みます。
- ・地域包括支援センターとの連携や、配食事業等を通じて地域のニーズ把握に努めます。
- ・当園で行われている介護予防活動について、地域に発信する機会を設けます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

組織の理念や行動指針に基づいた適切な判断ができ、自律的な行動がとれる職員の育成に取り組みます。

- ・支援手順、作業手順を確認し、専門性の高いソーシャルワークに基づく支援を行います。
- ・施設内外の研修に積極的に参加し、今後の高齢社会、地域社会に発信や貢献ができる人材の育成に努めます。
- ・安全な介護環境と働きやすい職場環境を整備し、丁寧な動作を心がけ、利用者にも職員にも優しい施設の実現に取り組みます。
- ・ICTの導入を進め、オンライン研修等を活用し、介護職と相談員の双方の視点を兼ね備えた職員の育成に努めます。
- ・コミュニケーションを活性化し、相互信頼を深め、働きやすい環境づくりとスキルアップに努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

中長期の展望に基づく計画的な支出を行うとともに、日々の支出を見直して無駄を精査し経営の安定化につなげます。

- ・配食事業の拡大を目指すとともに、費用対効果の分析に努めます。
- ・必要な施設整備を進めるにあたり、取引の実例価格、需要と供給の状況等を考慮し、適切な価格にて実施します。
- ・年間を通して委託業務の内容を見直し、持続的成長のためにコストの最適化を図ります。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
エアコン交換(×5)	588	食器消毒保管庫	816			エアコン交換(×5)	588
電気温水器(×4)	621	ノートPC(×4)	1,000			電気温水器(×4)	621
						プレハブ冷凍機 (ひかり苑と按分)	529
購入等合計	1,209	購入等合計	1,816	購入等合計	0	購入等合計	1,738

令和7(2025)年度 事業計画（特別養護老人ホーム）

施設名	フジホーム		
定員	100	名	
			短期入所専用
			空床利用
			4
			6
			名
			名

【地域における施設ミッション】

関係機関と連携し、地域の方に安全・安心を提供できる拠点施設を目指します。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
96.4%	95.6%	96.1%	97.1%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の尊厳の保持を起点とし、その有する能力に応じた自己決定に基づく日常生活を営むことができるように介護・支援します。
- ・利用者の安全・安心を守るため、感染症予防対策、防災マニュアル、災害時等における事業継続計画(BCP)を随時見直します。
- ・看取りケアのさらなる充実に向けて、利用者への接し方や対応方法の改善などに常に職員全体で取り組みます。
- ・利用者の重度化に対応するため、個々に合ったポジショニングに取り組み、安全安楽な生活を営めるよう支援します。
- ・利用者の生活環境改善のための物品の購入や修繕を行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・自治体や地域と協力しながら、介護が必要となっても地域で暮らし続けられるよう介護・医療・福祉を一体で提供するとともに、地域ニーズを把握し、多様なサービスに取り組むなど、開かれた施設を目指します。
- ・昭島病院総合支援センター、地域包括支援センターと連携しながら緊急時の短期入所受入れや在宅復帰時の調整において短期入所生活介護事業を活用し、地域のネットワークづくりに努めます。
- ・健康と福祉を通じて、取り残されない持続可能な社会づくりを目指します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・生産性の向上(人間関係、DX推進)に向けた職場環境を構築します。
- ・外国人介護職員を受け入れ、施設内に限らず国際的な福祉人材の育成に貢献します。
- ・4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)に継続して取り組み、業務の効率化、バランスの取れた働き方を推進します。
- ・福祉を学ぶ実習生の積極的な受入れを行い、未来の人材の育成と確保に努めます。
- ・出産・育児・介護での休業・休暇のための体制整備を継続して推進します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・稼働率向上と加算取得による収入増を目指し、常にコスト削減を意識しながら健全な経営を目指します。
- ・施設整備を計画的に進めるため収支差額の増額を目指します。

【施設・設備整備計画】

(千円)							
第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
非常用自家発電機修繕	2,530	介護支援ソフト更新	4,329	ノートPC(×5)	1,000	低床ベッド(×3)	2,499
ノートPC(×5)	1,000			非常灯修繕	4,000		
購入等合計	3,530	購入等合計	4,329	購入等合計	5,000	購入等合計	2,499

令和7(2025)年度 事業計画 (特別養護老人ホーム)

施設名	ニューフジホーム		
定員	100	名	
			短期入所専用
			空床利用
			4
			6
			名
			名

【地域における施設ミッション】

地域の住民が老後も安全・安心に暮らし続けられるように、専門的ケアを積極的に地域に還元するとともに、地域の拠点施設を目指します。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
88.9%	92.7%	95.0%	91.6%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者に「丁寧な寄り添う介護」を提供するため、個別ニーズに応じた支援に努めます。
- ・利用者の重度化に対応し、個々に合った移乗・移動介助を検討し、リクライニング車椅子・電動ベッドを活用します。
- ・看取りの体制整備を促進し、最期まで安心して施設で過ごせるよう病院と連携し、専門的ケアを提供します。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時・感染時における事業継続計画(BCP)を随時見直します。
- ・施設環境に合わせた感染症予防を行いながら、ボランティア活動の拡大等で利用者を楽しんでもらえる機会を増やします。

◆ 地域社会への取組み

- ・ホームページをこまめに更新し、地域の方にとって身近な施設となるよう情報提供に努めます。
- ・地域包括ケア推進に向けて昭島病院や地域の居宅介護支援事業所等と連携し、ショートステイの利用等につなげます。
- ・感染症予防を行いながらボランティアの受入促進に取り組みます。
- ・地域が求める高齢者福祉、介護サービスの推進に努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・業務の見直しを進め、将来を見据えた人材育成に努めます。
- ・出産・育児・介護での休業・休暇のための体制整備を継続して推進します。
- ・ロボット機器、見守り機器の活用や持ち上げない介護を推進し、職員の体への負担をなくす業務改善を進めます。
- ・新規職員の確保に努めます。
- ・職場のOJT体制を検討し、未経験の職員や外国人の職員への研修体制及び受入体制を構築します。
- ・タブレットやアプリを活用し、円滑な情報共有を図るとともに、業務の効率化、生産性の向上を図ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・数年後の建替え等を視野に、収支の均衡に努めます。
- ・稼働率向上のため、入院者の減少への取組みの強化、感染症予防対策の充実、感染後の速やかな復旧体制の確立、新規利用者の速やかな入所、空床のショートステイ利用をさらに進めます。
- ・節電・節水に努め、消耗品・日用品は必要性を随時見直し、価格も比較検討し、経費の削減を図ります。

【施設・設備整備計画】

(千円)							
第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
ホームページ制作	495	介護支援ソフト更新 PC(×2)	2,886 400	PC(×3)	600		
購入等合計	495	購入等合計	3,286	購入等合計	600	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画（特別養護老人ホーム）

施設名	原町ホーム		
定員	50	名	
			短期入所専用
			2
			空床利用
			4
			名
			名

【地域における施設ミッション】

各種事業を備えた地域の拠点として、地域住民が安心して暮らせるまちづくりに貢献します。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
101.6%	98.9%	93.3%	94.7%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・「やさしさを起点とした介護」を実践し、その人らしい生活を支援します。
- ・利用者本位の徹底と、いつも笑顔あるケアにより利用者にとって幸せな施設を目指します。
- ・利用者のより良い生活のために、生活とは何かを再度考え、レクリエーションや行事などの余暇活動等の充実を図ります。
- ・利用者の生活環境の向上のため空調設備の交換を行います。
- ・ICT環境を整え、その活用を通じサービス向上につなげます。
- ・利用者の安全・安心を守るために、感染症対策や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)を随時見直します。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域が求める高齢者福祉・介護サービスをつくります。
- ・福祉避難所協定施設、成城学校避難所運営協議会参加団体として、地域住民や近隣町会とのつながりを強め、地域包括ケアの一端を担えるよう役割を果たします。
- ・新宿区内社会福祉法人連絡会加盟法人と連携をとり地域住民のニーズに応えます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・安定的な雇用確保、離職防止のため、働きやすい職場環境を確立します。
- ・法令遵守を核とした運営及び利用者サービスの向上を目指し、法人内研修・施設内研修・外部研修等を活用し、多角的・重層的に人材育成強化を図ります。
- ・「持ち上げない介護」の実践や見守りセンサー等の活用を推進し、職員の負担を軽減します。利用者にとっても安全・安心な介護を進めます。
- ・共通の介護観を再度確認し、職員の能力や経験を最大限に引き出し、高いパフォーマンスをあげるチームをつくりま

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・収入と支出のバランスがとれた安定した経営基盤をつくります。
- ・安定した稼働を維持できるよう、各セクションの連携を強化します。
- ・消耗品、日用品等の必要性を随時見直し経費の節減を図ります。
- ・各種加算取得状況を見直すとともに、新規加算の取得に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)							
第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
2・3F空調設備更新	31,146	介護支援ソフト更新	3,745				
PC(×4)	1,000						
ナースコール	7,886						
購入等合計	40,032	購入等合計	3,745	購入等合計	0	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画 (特別養護老人ホーム)

施設名	ゆたか苑		
定員	50	名	
			短期入所専用
			空床利用
			4
			4
			名
			名

【地域における施設ミッション】

介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう自治体や地域と協力して、地域の実情に則した多様なサービスを提供し、地域とともに歩む施設を目指します。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
95.1%	95.3%	93.3%	95.5%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者、家族の心情に寄り添い、感染症対策に留意した生活様式の創出に努めます。
- ・個別支援やクラブ、ボランティア活動を段階的に再開し、利用者の社会性を維持する支援を行います。
- ・利用者権利擁護の一環として「不適切ケア」のチェックを行い、虐待防止に努め、接遇向上の取組みを継続します。
- ・認知症対象者や症状緩和ケアが必要な看取り対象者へ、心理的なケアを行います。
- ・見守りセンサー等のICT機器を活用することで体調不良等の早期発見に努めます。
- ・利用者の安全・安心を守るため、リスクマネジメントの観点から感染症対策や防災マニュアル、事業継続計画(BCP)を随時見直します。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域交流事業(体操教室、栄養教室)の開催、ならびに近隣町会との防災応援協定に基づいた車椅子操作等、施設の専門的なケアを地域に還元します。
- ・町会活動に参画することで地域住民の声に耳を傾け、地域課題解決の一助を担います。
- ・発災時の福祉避難所の使命を果たすため、自治体や町会との連携を図り、実動訓練を通して強固な体制を構築します。
- ・豊島区短期集中通所事業の活動拠点として地域住民に対し施設を開放することで、施設機能を有効に活用します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・人材難という喫緊の課題に対して、社会福祉実習生の積極的な受け入れはもとより、生活困窮者支援事業「職場体験実習」の実施による中途採用者の登用、留学生奨学制度導入の検討を図り、法人の将来を担う人材を確保します。
- ・職員がやりがいと希望を持ち続けられるように「1on1コミュニケーション」によるスキルアップや人材育成に努めます。
- ・喀痰吸引や認知症等の専門研修により実践に必要な知識技術を修得、利用者のニーズに応える人材を育成します。
- ・ICTの活用を進めることで生産性の向上と負担軽減を図り、ワークライフバランスを見据えた働き方改革に努めます。
- ・区内他法人施設と連携して交換研修や職種・階層別の施設間交流の場を設け、モチベーションの維持向上に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・科学的介護情報システム「LIFE」を活用した「LIFE関連加算」のさらなる加算取得を目指します。
- ・豊島区特養待機者名簿の運用についてブラッシュアップを図り、「速やかな入所」による稼働率向上を図ります。
- ・開所より四半世紀が経過し、老朽化した施設設備の改修を計画的に進め、コスト削減に努めます。
- ・収支状況や費用対効果に考慮した施設経営に努め、安定した財務基盤を築きます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		介護支援ソフト更新	3,674	小荷物昇降機更新工事	2,530		
		PC(×12)	3,300				
		機械浴槽	8,297				
購入等合計	0	購入等合計	15,271	購入等合計	2,530	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画 (特別養護老人ホーム)

施設名	ひかり苑		
定員	50	名	
			短期入所専用
			空床利用
			4
			5
			名
			名

【地域における施設ミッション】

社会福祉法人としての責務を全うするため、地域の方々や利用者、家族に信頼される施設として、福祉避難所の機能を高めるなど、社会的役割を積極的に果たします。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
97.5%	98.8%	95.8%	97.7%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・法人の理念と方針そして高齢者支援系グループ方針を遵守し業務を遂行します。
- ・利用者の人権を尊重し、安全・安心な環境を整え自己決定に基づく自立した日常生活が送れるように支援します。
- ・「親切」「丁寧」「誠実」を起点に、個別ニーズに応じたサービスを提供し、時代に応じた新しい介護機器やICTを活用した介護を実践します。
- ・施設の老朽化に対して、法人中長期計画に基づいて施設設備の改修・更新を行い、安心できる快適な居住環境を提供します。
- ・安全・安心を守るために、感染症対策・防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しと適切な運用をします。

◆ 地域社会への取組み

- ・東村山市や富士見町福祉施設連絡会と連携しながら、地域の防犯、防災に向けた「富士見町あいさつ運動」に参加します。
- ・福祉避難所としての機能強化に向けて、東村山市福祉避難所連絡会に参加して役割を果たせるよう取り組みます。
- ・地域包括ケアシステムの一員として、自治体や東村山高齢者福祉施設連絡会と連携して福祉のまちづくりに取り組みます。
- ・地域包括支援センター等と連携しながら緊急時の短期入所等を積極的に受け入れ、地域に合わせた多様なサービスの拠点を目指します。
- ・特養、短期入所、認知症対応型通所介護と連携し、地域住民のための必要なサービスを展開します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員を大切に、職員が安心して働ける風通しの良い職場環境を作ることで、離職を防止して人材の定着と育成に努めます。
- ・介護実習等や外国人人材を積極的に受け入れ、介護のやりがいや魅力を体験してもらい、人材確保につなげます。
- ・新等級基準に応じた職員のスキルアップを行い、計画的な福祉人材育成を進めます。
- ・4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)の実施と災害の防止に取り組みます。
- ・日々の学びや話し合い、研修の機会、ICT機器の活用により職場環境の改善やサービスの維持向上につなげます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・利用者の「脱水・低栄養の予防」「転倒への危険予測」「安全な環境整備」に重点を置いて、入院者を減らし目標稼働率を達成します。
- ・健全な経営を行うために財務状況の把握に努め、適正な職員配置と支出管理を行い財務基盤の安定を目指します。
- ・新規利用者の入所をスムーズに行うとともに、短期入所者を積極的に受け入れます。
- ・新規加算を積極的に取得しながら、固定費等の支出を見極め、将来の建替え資金を確保します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		介護支援ソフト更新	2,659	ガス式立体炊飯器	913	ブレハブ冷凍機	529
		PC(×4)	800	ステンレス製回転釜	787	(サンホームと按分)	
購入等合計	0	購入等合計	3,459	購入等合計	1,700	購入等合計	529

令和7(2025)年度 事業計画（認知症対応型老人共同生活援助事業）

施設名 **グループホーム かえで**

定員 **18** 名

【地域における施設ミッション】

昭島に住む高齢者が認知症になっても安心して暮らせるように、関係機関と連携しながら地域福祉の拠点施設としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
97.6%	95.5%	88.8%	90.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・自立支援の一つとして、利用者が主体的に生活することができるように、買い物・調理・洗濯・掃除などの家事活動の支援に積極的に取り組みます。
- ・利用者や家族からの問い合わせ等に迅速かつ誠意を持って対応し、必要とする情報を適宜適切に提供できるよう努めます。
- ・顧客満足への思いを念頭におき個別化対応に配慮したケアに努め、サービスの改善・向上を図ります。
- ・感染症対策を徹底して利用者の健康管理に努めます。
- ・虐待及び不適切なケアを防止するため、夜間に一人で勤務する職員へのサポート、チェックの改善に取り組めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・昭和郷高齢者複合施設全体の取組みとして、月1回さくらカフェを運営します。
- ・誰もが集えるカフェをつくります。(地域の方々が、つながる拠点を目指します)
- ・地域の方への認知度を高め来場者増を目指します。
- ・地域共生社会の実現に向けて交流の場を設けます。
- ・行政ならびに関連機関事務所と連携して認知症への理解を深めるための取組みに参画します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・人材不足を解消するために、採用活動を最重要課題とします。
- ・時代の変化や多様なニーズに柔軟に対応できる専門職としてのスキルアップを図るために、OJTと並行して積極的にOFF-JTの機会を作ります。
- ・業務を見直し効果的なサービス提供と働きやすい職場づくりを目指します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・収入と支出のバランスのとれた財務基盤をつくり、安定した施設経営を目指します。
- ・目標とする施設利用率を達成するために、小規模多機能・さくらガーデンと情報共有し、かえで利用者入退去等による空床期間の短縮化を図ります。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		ノートPC(×2)	400			非常用電源装置 (複合施設按分)	355
購入等合計	0	購入等合計	400	購入等合計	0	購入等合計	355

令和7(2025)年度 事業計画（認知症対応型老人共同生活援助事業）

施設名 原町グループホーム

定員 18 名

【地域における施設ミッション】

地域の方の「新宿で暮らし続けたい」という願いを地域と共に支えます。新宿区の大切な社会資源として地域から必要とされる事業運営を目指します。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
95.9%	87.8%	98.4%	97.1%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者一人ひとりの有する能力を上手に活用して、自立した暮らしを送ることができるように支援します。
- ・家族、関係者と連携しながら利用者の暮らしを支援します。
- ・住み慣れた地域で暮らし続けるために、ボランティア等のさまざまな社会資源を活用した支援をします。
- ・認知症の方でも安心して生活できるよう、ICT等の活用でサービスの質向上と環境整備を行います。
- ・福祉サービス第三者評価の受審を通してサービスの質の改善と向上に努めます。
- ・新型コロナウイルス感染症等への対応を徹底することにより、利用者の健康管理に努めます。
- ・虐待及び不適切なケアを防止するため、夜間に一人で勤務する職員へのサポート、チェックの改善に取り組みます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域との交流を通して愛される事業所を目指します。
- ・ボランティアを積極的に受け入れ、開かれた事業運営を目指します。
- ・施設見学や実習生等を積極的に受け入れます。
- ・利用者が住み慣れた地域で今後も暮らしていけるように自治体や地域と連携・協力体制を構築します。
- ・原町拠点群として連携しながらシームレスなサービス提供体制を構築します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・事業所内外の各種研修を通して、専門職としての資質向上を図ります。
- ・職員間でのコミュニケーションを密に取り、チームでケアを行います。
- ・ICT等のツールを活用した業務効率化と負担軽減に取り組みます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・収入と支出のバランスのとれた安定した経営基盤をつくります。
- ・目標とする施設利用率を達成するために退去等による空床期間の短縮化を図ります。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
空調設備更新 (複合施設按分)	4,254						
購入等合計	4,254	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画（高齢者デイサービスセンター）

施設名 **フジ・デイサービスセンター**

定員 **25** 名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

地域の方々が住み慣れた場所で安心して暮らしていくことができるように家族や行政、居宅介護支援事業所その他の福祉サービス機関と連携し、それぞれのニーズに応じたサービスを提供します。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
60.5%	51.1%	53.6%	50.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

居宅介護支援事業所を中心に、家族と行政、その他の福祉サービス事業者との連携を図りながら、その人らしい在宅生活を継続できるよう、きめ細やかなサービス提供に努めます。昭島病院の理学療法士や民間のスポーツジムのトレーナー等専門職によるリハビリ体操などを取り入れながら、自立支援に努めるとともに、選ばれるデイサービスづくりに努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域福祉ネットワーク(主に通所部会)の活動に参加し、他事業所との交流を通して得られた知識や情報を利用者へのサービス内容の充実として還元します。
- ・地域のボランティアを積極的に受け入れることで、地域と利用者がつながる共生社会の構築を目指します。
- ・保育園との交流や中学生の体験ボランティアなど他世代との交流を推進し、地域に開かれたデイサービスを目指します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・生産性の向上(人間関係、DX推進)に向けた職場環境を構築します。
- ・職員の資質向上のため、個々の職員のスキルに応じて学びの場を提供できるよう、研修への参加やeラーニングの活用を実践します。法人内での交換研修にも積極的に取り組みます。
- ・4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)に取り組み、業務の効率化、バランスの取れた働き方の推進を図ります。
- ・実習生を積極的に受け入れ、次世代の福祉人材育成に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・安定した事業経営のため、目標稼働率の達成と計画的な支出に努めます。
- ・稼働率に見合った適正な人員配置を再確認し、業務の効率化に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画（認知症対応型高齢者デイサービスセンター）

施設名 東大和市ふれあいデイセンターひかり苑

定員 12 名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

社会福祉法人としての責務を全うするため、地域の方々や利用者、家族に信頼される施設として、南苑庭の活用など、社会的役割を積極的に果たします。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
56.1%	49.5%	45.9%	48.5%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・法人の理念と高齢者支援系グループ方針を遵守し、業務を遂行します。
- ・利用者の人権を尊重し「親切」「丁寧」「誠実」をモットーに個別ケアに努め、住み慣れた地域で自立した生活が送れるように支援します。行事や日々のイベント、ボランティアによるアクティビティ等を活用し認知症状の緩和ケアを行います。
- ・機能訓練や活動を通して、フレイル予防やADLの維持向上に努めます。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るために、感染症対策や防災・BCPマニュアル、緊急時マニュアルを整備・活用します。
- ・ボランティアの受け入れや外出行事を積極的に進め、サービスの質の向上につなげます。

◆ 地域社会への取組み

- ・東村山市富士見町福祉施設連絡会と連携し、「富士見町あいさつ運動」に積極的に参加することで、地域の防災防災に貢献します。また、東村山市通所サービス事業者連絡会、フードドライブ事業等に参加・協力し必要な情報を得て、利用者へのサービスにも反映していきます。
- ・運営推進会議を開催し、地域に求められる福祉・介護サービスを深化しながら継続します。
- ・地域包括ケアシステムを推進するため、地域の関係機関と連携を強化し、住み慣れた地域でいつまでも暮らせるように支援するとともに、地域行事などへの参加や南庭の活用など積極的に地域と関わりを持ち、開かれた施設を目指します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・デイ会議やミーティング等職員間のコミュニケーションを積極的に図れる場を設け、職員が心身ともに健康で安心して働ける職場環境を目指します。
- ・実習生等を積極的に受け入れることで利用者の社会への関わりを広げ、豊かな生活の一助とするとともに、将来の福祉現場の人材確保や福祉の窓口としての役割を担います。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

コストの管理、削減や新規加算の取得に取り組み、市内近郊のケアマネージャーと連絡を密に取りつつ特養・ショートステイと連携することで、安定した新規利用者の獲得につなげ、近年続く赤字を解消し、健全な経営を行います。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画 (地域包括支援センター)

施設名 新宿区榎町高齢者総合相談センター

【地域における施設ミッション】

高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、「高齢者の何でも相談所」としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設1日平均利用者数

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
26.2名	23.0名	30.2名	31.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・新型コロナウイルス感染症等に注意しつつ、高齢者への支援を行います。
- ・認知症の高齢者に対し、認知症施策を活用して、早期に適切な医療・介護サービスにつながるよう支援します。
- ・高齢者への支援に活用できるように地域の社会資源と連携します。

◆ 地域社会への取組み

- ・新型コロナウイルス感染症に配慮した新しい地域の活動(町内会・老人会等)をサポートします。
- ・認知症サポーター養成講座を実施し、地域の認知症への理解を促します。
- ・高齢者の生活を住民中心で支える体制を整備するため、多様なサービス提供主体と連携します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・感染症予防対策を通して、職場の衛生環境の維持向上を行います。
- ・自治体や関係機関の主催する研修に参加し、職員の育成に努めます。
- ・業務の見直し(チーム制等)を行い、ワークライフバランスを重視した職場環境の構築を目指します。
- ・社会福祉士や看護師等の実習生を積極的に受け入れ、次世代の人材育成に寄与します。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

適切なコスト管理を行い、健全な経営環境を維持します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画（地域包括支援センター）

施設名 昭島市中部地域包括支援センターあいぽっく

【地域における施設ミッション】

高齢者が住みなれた地域で生活できるように、「自助・互助・共助・公助」の視点を大切に地域包括ケア実現に向けて事業を展開します。

【重点項目】

◆ 施設1日平均利用者数

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
20.1名	23.7名	21.8名	22.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

・生活機能の低下を予防して要介護の状態にならないように、自立支援の視点を大切にしながら、介護予防のケアマネジメントを行います。
 ・市内の他の地域包括支援センターと連携しながら家族介護者教室を開催し、介護者の支援を行います。
 ・第9期昭島市介護保険事業計画に沿って昭島市や各地域包括支援センターと協働し、地域包括ケアシステムの推進に向けて、医療・介護・予防・生活支援・住まい等、関係機関、地域関係者と連携します。

◆ 地域社会への取組み

・市民に向けて積極的に情報を公開し、地域包括支援センターの役割が周知・活用されるよう取り組みます。
 ・地域ケア会議において、地域関係者、関係機関等で、多職種が協働することで、地域課題を抽出し、個別課題の解決等に取り組みます。
 ・昭島市の見守り地域ネットワークの中心機関として、医療機関やインフォーマルサービス等も含めた地域のネットワーク構築に引き続き取り組みます。
 ・認知症サポーター養成講座等を通じて、町会等での認知症講座を開催することで、住民の認知症に対する正しい理解を深めるなど、普及啓発活動を行います。
 ・個別ケースの状況に応じて、行政、地域（民生委員等）、昭島地域ネットワーク等との協力、連携を図ります。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・包括的・継続的ケアマネジメントに努め高齢者が地域で自分らしい生活を安心して送れるよう、多職種で連携を深めます。
 ・介護保険事業所に対して、虐待に関する講義や疾患に関する講義を行い、スキルアップに努めます。
 ・福祉系大学等で社会福祉士を目指す学生の実習を受け入れ人材育成の一端を担います。
 ・感染症予防の観点から、アルコール等を使用した事業所内の定時の拭き掃除、換気を引き続き行います。
 ・センターが入居する建物の大規模改修工事の実施に向けて、関係部署と協議しながら計画に沿って準備を行います。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

サービス向上とコスト削減を両立していけるようバランス意識を持った経営を心掛けます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画（小規模多機能型居宅介護事業）

施設名 原町小規模多機能居宅介護センター

定員 25 名

【地域における施設ミッション】

要支援、要介護状態になっても、住み慣れた地域で生活を継続できるよう支援します。地域の認知症高齢者の生活を支える社会資源としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
93.7%	83.7%	89.7%	90.3%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・小規模多機能型居宅介護の柔軟なサービス形態を発揮し、認知症になっても可能な限り在宅での暮らしができるようサポートします。
- ・感染症並びに災害時における事業継続計画(BCP)をもとに職員の研修および訓練を行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域から信頼される事業所を目指し、積極的に地域への参加を目指します。
- ・感染症予防に留意し、地域包括支援センターをはじめ関係機関と連携しながら、地域との関わりを深めていきます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・虐待防止委員会、身体拘束適正委員会、防災BCP委員会、感染症対策委員会等の委員会運営をもれなく行い介護職員のレベルアップを目指します。
- ・職員各々のスキルアップを目指し、福祉の専門職としての研修を充実させます。
- ・web研修、リモート会議を積極的に活用し業務効率化を進めます。
- ・ICTを活用することで記録業務を見直し、ペーパーレス化に取り組みます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・収入と支出のバランスのとれた経営基盤をつくり、安定した施設運営を目指します。
- ・稼働率(登録人数)と介護度のバランスを注視し安定した施設運営を目指します。
- ・業務効率化を図り、コスト削減に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
空調設備更新 (複合施設按分)	2,566						
購入等合計	2,566	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画（小規模多機能型居宅介護事業）

施設名 昭和郷小規模多機能居宅介護センター

定員 25 名

【地域における施設ミッション】

要支援、要介護状態になっても、住み慣れた地域で生活を継続できるよう支援します。地域の認知症高齢者の生活を支える社会資源としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
87.3%	90.7%	88.0%	84.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・住み慣れた地域・自宅で尊厳を持って暮らせるように支援します。
- ・利用者、家族一人ひとりの生活スタイルに沿って、在宅生活継続のための多様なサービスを一体的・連続的に提供します。
- ・運営推進会議等を活用し、意見を取り入れながら開かれた事業を運営します。
- ・地域の医療機関等の多職種と連携しサービスを提供します。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時・感染時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。
- ・利用者の「～したい」を職員皆で共有し、実現に向けて力を注ぎます(利用者の願いを叶えるのが職員の願いです)。

◆ 地域社会への取組み

- ・昭和郷高齢者複合施設全体の取組みとして、月1回さくらカフェを運営します。
- ・誰もが集えるカフェをつくれます(地域の方々が、つながる拠点を目指します)。
- ・地域の方への認知度を高め来場者増を目指します。
- ・地域共生社会の実現に向けて交流の場を設けます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・人材不足を解消するために、採用活動を重要課題とします。
- ・スキルアップのための研修(複合施設合同研修を含む)を実施します。
- ・利用者の様々な状況に対応し伴走支援していくためにも職員の質の向上を目指し、認知症やサービスマナー、看取り等に対する理解を深めます。
- ・在宅支援についての機微を理解し、訪問・通い・泊りのケアを提供できる職員を各々の持ち味を生かしながら育成します。
- ・実習生等を積極的に受け入れ将来の福祉現場の人材確保につなげます。
- ・職場環境を改善し、離職率を減らします。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・適正な職員配置に努めます。
- ・行政・地域包括支援センター・病院・居宅支援事業所等から紹介が受けられる関係づくりに努めます。
- ・業務効率化を図り、コスト削減に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
						非常用電源装置 (複合施設按分)	355
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	355

令和7(2025)年度 事業計画（定期巡回・随時対応型訪問介護看護等）

施設名 昭和郷訪問介護センター

【地域における施設ミッション】

自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、定期的な巡回や随時通報への対応など、心身の状況に応じて、24時間365日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供します。

【重点項目】

◆ 施設1日平均利用者数（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
19.9名	20.3名	17.4名	17.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・居宅サービス計画を基に、サービス提供責任者、サービス担当責任者が計画書を個々に作成し支援します。計画書は随時見直し、柔軟で適切な支援につなげます。
- ・要支援者の生活を支えるための善きパートナーとなるべく、日ごろよりの確かな相談及び情報提供を行うことで緊密で良好な関係を保てるように努めます。
- ・時流により変化する価値観や環境変化に合わせてながら、利用者の健康と職員の健康を守っていきます。
- ・介護医療連携推進会議を定期的に開催して透明性の確保を図ります。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るためにも、感染症対応や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)を随時見直します。

◆ 地域社会への取組み

- ・昭和郷高齢者複合施設全体の取組みとして、月1回さくらカフェを運営します。
- ・誰もが集えるカフェをつくります(地域の方々が、つながる拠点を目指します)。
- ・地域の方への認知度を高め来場者増を目指します。
- ・地域共生社会の実現に向けて交流の場を設けます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・人材不足を解消するために、採用活動を重要課題とします。
- ・在宅介護の専門職として利用者サービスの対応力を持った職員を育成するために、個別の研修計画に基づき、月1回の研修(複合施設合同研修を含む)を実施します。
- ・計画作成担当者及び計画作成責任者が調整力を身につけることでヘルパーをまとめ、より良いサービスにつなげるように能力の強化を図ります。
- ・個々の能力に合わせて十分な同行訪問などを行い、訪問介護の基礎の習得を通して人材育成に努めます。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・定期巡回を中心に、適正な人員配置及びサービス調整を行い、利用者獲得と安定経営を図ります。
- ・総合ケアマネジメント/サービス提供加算の算定を続け、安定した収益源とします。
- ・月間で定期巡回20件、夜間対応6件の登録を目指します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		ノートPC(×2)	400			非常用電源装置 (複合施設按分)	355
購入等合計	0	購入等合計	400	購入等合計	0	購入等合計	355

令和7(2025)年度 事業計画（サービス付き高齢者向け住宅）

施設名 さくらガーデン

定員 49 室

【地域におけるミッション】

本人の意向を十分に尊重し、その人らしい暮らしを地域の中で続けることができるよう質の高いサポート・支援を提供します。また関係機関等とも連携し地域包括ケアシステムの構築に努めます。

【重点項目】

◆ 利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
93.2%	96.8%	96.4%	92.0%

◆ サービスの充実

- ・入居者面談を通じ、ニーズの把握に努め、快適な生活を支援します。
- ・地域資源、催し物等の情報を提供し、入居者の社会参加を手伝います。
- ・リスクマネジメントの観点から入居者の安全・安心を守るためにも、感染症対応方法や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)を随時見直します。
- ・関係機関を中心に営業活動を行い、当住宅の周知を図り、地域ケアの一端を担えるよう努めます。
- ・昭和郷訪問介護センターとさらなる連携を図り、安心した生活が提供できる体制づくりに取り組みます。
- ・暮らしの充実を図るため、楽しいひと時を過ごせるような企画を適宜開催します。
- ・喫食率を高めるため、給食業者の選定を検討します。

◆ 地域社会への取組み

- ・昭和郷高齢者複合施設全体の取組みとして、月1回さくらカフェを運営します。
- ・誰もが集えるカフェをつくります(地域の方々が、つながる拠点を目指します)。
- ・地域の方への認知度を高め来場者増を目指します。
- ・地域共生社会の実現に向けて交流の場を設けます。

◆ 人材の育成と職場環境の整備

- ・入居者が気持ちよく生活できるように、細やかな配慮のできる職員を育成します。
- ・サービス付き高齢者向け住宅協会の実施する研修を通して、サービスの質の向上、現職員のレベルアップを目指します。
- ・厨房スタッフの情報交換、衛生知識の向上の機会を適宜提供し、働きやすい職場を作ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・円滑な入居支援を実施します。
- ・コスト削減のために支出状況を見直します。
- ・昭和郷訪問介護センターとの連携体制の強化を進めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		ノートPC(×2)	400			非常用電源装置 (複合施設按分)	355
購入等合計	0	購入等合計	400	購入等合計	0	購入等合計	355

3. 障害者支援系施設の経営

障害者支援施設、心身障害者福祉ホーム、心身障害者福祉センター、共同生活援助事業並びに特定相談支援事業等を経営します。

1 グループ方針

・法人の中長期計画(第3期)に基づき、事業の安定と発展を目指し、堅固な経営基盤の確立を図りながら事業経営にあたります。
・令和7年度より杉並区久我山の所有地を活用した新規障害福祉サービス事業(生活介護・共同生活援助・短期入所)を開始します。地域社会との連携と結びつきを大切にしながら、区民の要望に応えられるよう質の高いサービスを目指します。
・多様なニーズに応えるための専門性を備え、かつ倫理意識の高い職員集団を目指します。
・各事業所が地域の社会資源の一つとしてその機能を十分に発揮し、また地域との連携強化を図り、誰もがその人らしく生活できる地域共生社会の実現に向けて取り組みます。
・感染症防止対策(新型コロナウイルス等)の継続と、感染症が発生した場合におけるグループ内協力体制を維持し、安心して事業を継続できるよう取り組みます。
・施設を利用する全ての障害者の人権を尊重する観点から、不適切支援、あってはならない虐待の発生を未然に防ぐ取組みに努めます。

2 グループ目標

◆ 利用者支援サービスの充実

・虐待防止や身体拘束等の適正化に向けた研修を実施し、職員の倫理意識・支援力の向上を図ります。また、地域の関係機関などとの連携により新しい知識や情報を共有することで、人権意識をさらに高め不適切な支援の根絶に向けて取り組みます。
・サービス等利用計画と個別支援計画との連動性を強化し、利用者一人ひとりの意思決定が尊重され、豊かな暮らしへとつながるよう質の高いサービスを提供します。
・感染症が発生した場合でも家族・行政等との情報共有・連携を図りながら、できる限り通常通りの運営を行い、安心して利用できるように、また地域生活が維持できるように努めます。
・IT・介護機器等の検討・導入を図り、業務の効率化及び支援の向上に努めます。
・事業継続計画(BCP)の見直し等を行い、災害時など有事における防災対策、防犯体制、感染症対策などの強化に努めます。

◆ 地域社会への取組み

・地域の要望に応じられるよう、各事業所における機能(特徴)を高めるとともに、施設機能を活かした地域ニーズ(暮らし)を支援します。
・地域との交流行事(お祭りや講演会等)を通じ、障害者への理解推進を図り、社会に根差した施設を目指します。開催にあたっては、感染症対策を行いながら安全な実施に努めます。
・地域の特性や施設の特徴を生かした社会貢献事業を行います。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・多様な事業運営に対応できるよう計画的な人材育成を進め、人材確保と定着を図ります。
・OJTを中心に、法人研修、グループ内研修、外部研修、キャリアアップ制度などを通して、支援力の向上と福祉従事者としての誇りを育みます。また働きやすい職場風土・環境づくりに努めます。
・グループホーム利用者の生活が豊かで、尊厳が保たれるよう、世話人等の資質の向上や透明性のあるサービス、バックアップ体制の強化を図ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・昨年度の報酬改定における変更点と現状を把握し、新規施策や制度変更、国や都の動向を適切に捉えて迅速に対応します。
・社会情勢の変化により、人件費を含むすべての物価が高騰し、運営費を圧迫しています。適切な予算の作成と執行を行い、さらに日々の節約も心がけ、安定した運営を目指します。
・選ばれる施設としての魅力を高めながら、関係機関との連携や情報共有を図り、利用者の確保及び稼働率の向上に努めます。

1 障害者支援施設

障害者総合支援法の多機能型施設として障害のある方への施設入所支援・生活介護(旧法:更生)・就労移行支援・就労継続支援B(旧法:授産)・短期入所事業を行います。

2 心身障害者福祉ホーム

豊島区内の心身障害者で特定の要件を満たす方へ、日常生活における援助等を行い自立生活を助長します。また、併せて緊急一時保護も行います。

3 心身障害者福祉センター

東久留米市内の居宅で生活している15歳以上の心身障害者の方が、住みなれた地域社会の中で安心して生活が送れるように各種サービスを提供し、自立助長及び介護にあたる家族の福祉向上を図ります。

4 共同生活援助(グループホーム)

障害のある方に対して、主に夜間において、共同生活を営む住居で相談、入浴、排泄または食事の介護、その他の日常生活上の援助を行います。

5 特定相談支援事業

障害のある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等の利用計画の作成(計画相談支援)を行います。自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けた、支援を行います。

令和7(2025)年度 事業計画 (障害者支援施設)

施設名	さやま園		
定員	96	名	
			短期入所専用
			施設入所支援
			特定相談支援事業
			4
			96
			名
			名

【地域における施設ミッション】

行政や他事業所と連携し、入所者の生活の充実及び地域移行の促進を図り、知的障害者の福祉の中核的拠点としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設利用率(施設入所支援)

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
98.6%	98.0%	96.9%	92.4%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・感染症対策をしながら余暇の充実に努めます。年間予定表を基に外出行事や季節行事を実施します。利用者の聞きとりをもとに社会経験が広がる支援を提供します。家族等には定期的な面会や帰宅ができるように努めます。
- ・高齢化及び重度化する利用者が、健康で生き生きと生活できるよう、関係機関と連携を図りながらリハビリ等に取り組みます。また、介助器具等を導入し、介助の負担軽減を図ります。療養型病院や高齢者施設への移行も視野に入れて、家族や行政、主治医、法人と連携します。
- ・引き続き感染症防止対策を継続し、安全・安心な生活の提供に努めます。昨年度同様感染者が出た場合には、法人、グループ間との連携・協力体制により、早期の収束に向けて取り組みます。
- ・地域移行が可能な利用者に対して、自己決定に基づいて主体的生活となるよう、家族・行政・グループホームと連携し自立に向けた支援を行います。移行が難しい方に対しても、地域の方の受け皿の機能を果たし自立支援のための計画を一緒に考え取り組みます。

◆ 地域社会への取組み

- ・以前のように地域の方も受け入れた行事や催し等を行い、地域に発信できる施設を目指します。
- ・ボランティアや中間就労者の受入れや、地域の方の雇用も積極的にいきます。
- ・地域の連絡会をもとに地域社会の参画に努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・虐待防止研修や介護技術の習得講習、グループワークやケースカンファレンス、研修動画等様々な研修に参加できる機会を提供し、職員一人ひとりの意識とスキルの向上を図り、組織全体の底上げを目指します。
- ・エルダー制度による人材教育や階層別研修、グループ交換研修、施設交流研修を通じて人材育成に努めます。
- ・それぞれのライフワークバランスを尊重し、職員間で共に支え合い助け合いながら、長く働き続けられる職場づくりを目指します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・報酬改定などによる収支状況を踏まえ、安定経営を図ります。
- ・強度行動の研修に積極的に参加させることで、加算の増加取得を目指します。
- ・適切な計画と予算を執行できるように定期的に職員に促し、健全な経営を目指します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
機械浴槽	3,662	見守りカメラ増設	799	ノートPC(×4)	1,000		
昇降テーブル・椅子	4,298	居室カーテン	1,461				
短期入所用引き戸修繕	1,430	ティルティングパン	1,167				
炊飯器	979	エレベーター修繕	850				
南棟製氷機	583	南棟WIFI設置	541				
屋上キュービクル修繕	880						
ノートPC(×6)	1,199						
購入等合計	13,031	購入等合計	4,818	購入等合計	1,000	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画（障害者福祉サービス事業）

施設名	小茂根福祉園		
定員	生活介護	40	名(通所)
	就労継続支援B	30	名(通所)
	計	70	名

【地域における施設ミッション】

住み慣れた地域での「私らしい暮らし」を支援します。地域住民と協働し住みやすく優しいまちづくりに貢献します。そして「誰にとっても魅力ある施設」を目指して職員一同取り組みます。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
77.5%	75.2%	75.0%	74.4%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の特性に合わせて絵や写真を活用した個別支援計画を作成し、内容の充実だけでなく、その計画を利用者本人や家族と共有することを重要視し、利用者の意思決定を尊重した支援に取り組みます。
- ・人権意識を高め虐待防止及び不適切な支援の根絶を目指します。
- ・新プロジェクト2年目を迎え、珈琲業の新商品開発や魅力を発信し利用者の活躍の場を広げます。
- ・利用者の自主生産品(コモネスト)・アート作品の販売等、新たな企画の展開と平行し、SNSの新規開設など日々の情報発信も強化し創意工夫します。
- ・事業継続計画(BCP)の再確認を行い、災害時に即応できる防災対策、防犯体制の充実、強化に努めます。
- ・感染症防止対策を継続し、いつでも安心して利用できる施設整備を含めた事業の継続を図ります。

◆ 地域社会への取り組み

- ・無印良品とのコラボ企画を通じて、小茂根福祉園の表現活動やコモネストの商品をより広く周知させる大きな機会となりました。今後も情報発信力を高め、地域共生社会の実現に向けて協働します。
- ・ボランティアを受け入れ、地域の方々に施設を理解していただき、地域に根差した施設づくりに取り組みます。
- ・板橋区社会福祉法人施設連絡会、東京都社会福祉協議会通所施設分科会、東京都発達障害者支援協会等に参画して地域ニーズに応える活動や社会貢献に取り組みます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・専門性と倫理観の高い職員育成を目指し、園内の職員交換研修や内部研修の充実、オンライン研修等を活用して学びの機会を確保し、業務分掌の適正化・効率化に努めチーム小茂根として事業運営に取り組みます。
- ・SDGsの目標に照らして、福祉事業と今後の運営のあり方、誰一人置き去りにしない社会の実現に向けた支援のあり方を考えていきます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・建物の老朽化に関して、板橋区の修繕計画に沿って対応します。
- ・適正かつ効率的な経費の執行に努めます。
- ・板橋区の区立福祉園のあり方について、区の方針に沿って、家族や所管課・法人本部と密に連携します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
トイレブース交換 (1F男子)	1,130	トイレブース交換 (1F女子・車いす)	2,038	トイレブース交換 (2F男子)	700	トイレブース交換 (2F女子)	925
屋上外壁・機械室修繕 (板橋区実施)	5,082						
購入等合計	6,212	購入等合計	2,038	購入等合計	700	購入等合計	925

令和7(2025)年度 事業計画（障害者福祉サービス事業）

施設名	立川福祉作業所		
定員	就労移行	6	名(通所)
	生活介護	30	名(通所)
	就労継続支援B	44	名(通所)
	計	80	名

特定相談支援事業

【地域における施設ミッション】

通所施設の役割として、社会参加の機会と経済的な活動を実現するための働く場を提供します。関係機関と協働し地域に暮らす障害者ニーズに寄与するとともに、利用者の地域生活を支えます。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
87.1%	87.4%	87.7%	86.5%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・経済的な自立につながる働く場と利用者の自己肯定感・有用感が高まるような活躍の場を提供し、利用者満足度の向上に取り組みます。
- ・利用者の最善の利益を考え個別支援計画を作成し、利用者一人ひとりが思い描く自己実現に取り組みます。

◆ 地域社会への取り組み

- ・地域の課題解決に向けて地域ネットワークと協働します。地域課題の一つにある生活困窮について、パン屋BAKUBAKUでのロスパンを活用します。地域課題の解決と食品ロスの軽減に取り組みます。
- ・立川市内の企業とビジネスパートナーシップを深め、新たな地域内循環型での作業受注や就労の機会の創出に向けて取り組みます。
- ・地域に向けた行事の開催や地元でのイベントへの参画を通じて、当施設や障害者の理解促進と社会参加の機会を作ります。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員が互いに敬意を持ち、ハラスメントのない安心して働ける職場環境を整えます。
- ・ワークライフバランスを実現させ、長く働きやすい職場環境を整えます。
- ・施設の目的と目標を共有し、対話を多く重ねることでエンゲージメントの高い組織と職員個々のキャリア形成を目指します。
- ・専門性の向上とキャリア形成を目指し、資格取得の励行と計画的な研修参加に努めます。

◆ 財務基盤の強化に向けた取り組み

- ・特別支援学校への定期的な巡回や、計画相談事業所、自立訓練事業所などの関係機関と連携を深め、積極的かつ継続的な利用者の充足に取り組みます。
- ・定員超過による利用者を受け入れることで、稼働率の安定化を図ります。
- ・障害支援区分及び障害特性の適切な評価に結び付け、施設収入の増額に取り組みます。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
ドゥーコンディショナー (パン生地発酵器)	4,400	PC・タブレット(×10)	1,500				
購入等合計	4,400	購入等合計	1,500	購入等合計	0	購入等合計	0

(千円)

令和7(2025)年度 事業計画（障害者福祉サービス事業）

施設名	東村山生活実習所					
定員	生活介護	30	名(通所)	短期入所専用	2	名
	就労継続支援B	10	名(通所)			
	計	40	名			

【地域における施設ミッション】

多様な価値観の中で、地域との連携や関係性を深め、地域から必要とされる魅力ある施設を目指します。障害のある方が、人としての尊厳・存在意義を感じながら地域生活が送れるように貢献します。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
97.2%	91.9%	95.8%	93.1%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・OJTを中心として、職員の倫理意識と専門性の向上を図り、虐待防止・身体拘束・合理的配慮等の適正化に努めます。
- ・個別支援計画の充実と意思決定支援により、利用者の自己表現・自己実現に向けて取り組みます。
- ・チームアプローチによる支援を行うことで、より質の高いサービスを提供します。

◆ 地域社会への取組み

- ・カフェの運営、公園の清掃・リサイクル活動等、様々な活動を通じて地域と関わりを深め、利用者の社会参加を促進します。
- ・自立支援協議会など地域ネットワークに参画し、障害者の高齢化や緊急時の対応など地域課題の解決に向けて協働し、地域福祉の増進と地域共生社会の実現に向けて寄与します。
- ・特別支援学校の卒業後の進路先として、また、その都度地域の利用ニーズに対応した実習等を受け入れます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・エルダー制度、OJT、OFF-JT、グループワークなど様々な研修に参加することで、資格取得を推進し、職員一人ひとりの専門性の向上、質の高いサービス提供に努めます。また、人権を尊重した倫理意識の高い組織集団を目指します。
- ・キャリアデザインに基づく人材育成に努めます。
- ・ワークライフバランスの実現・また接遇を重視した働きやすい職場、環境づくりに努めます。
- ・業務の効率化や介護負担の軽減を目的に、ICTの活用や福祉用具等の導入を検討します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・令和6年度の報酬改正における変更点などを精査し、現状に沿った加算の見直しを行うとともに、新規施策や制度変更等に迅速に対応します。
- ・選ばれる施設としての魅力を高め、利用者の確保・定員超過での受入れ等を実施し、安定した稼働率を目指します。
- ・相談支援事業所や特別支援学校等との連携・信頼を深めながら新規利用者の獲得につなげます。
- ・物価高騰による影響を最小限に抑え、省エネ、コスト削減に努めた施設運営に取り組みます。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
電話機交換	1,430			炊飯器 PC(×5)	704 1,000		
購入等合計	1,430	購入等合計	0	購入等合計	1,704	購入等合計	0

(千円)

令和7(2025)年度 事業計画（障害者福祉サービス事業）

施設名	リーフぽけっと					
定員	生活介護	40	名(通所)	短期入所専用	2	名

【地域における施設ミッション】

一人ひとりの個性や生き方を尊重した支援を行います。
一人ひとりの望む地域生活の実現に向け支援します。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
—	—	—	—

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者・家族との関係性を築き、安心して通所できるよう信頼関係の構築に努めます。
- ・丁寧なアセスメントのもと個別支援計画を作成し、チームアプローチによる支援を行います。
- ・利用者の希望や興味を反映させ、様々な体験ができる日中活動プログラムを提供します。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域活動への参加を通して、顔の見える関係性を築き、地域に根差していきます。
- ・杉並区の様々なネットワークに参加・連携し、障害者の地域生活を支えていけるよう貢献します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員間のコミュニケーションを促進させ、施設ミッションの共通理解のもと、主体的に取り組む組織集団を目指します。
- ・虐待・差別を自分事として捉え、人権意識を高めて支援できるよう虐待防止体制の整備と強化を図ります。
- ・OJT研修に重点を置き、全職員の支援技術の標準化と向上を目指します。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・杉並区と連携し、令和7年度は20名まで計画的に利用者を増員し、安定した経営に向けて取り組みます。
- ・随時利用者状況の実態に応じた加算の見直しを行うとともに職員配置の適正化を図ります。
- ・年間のランニングコストを見極め、省エネ、省資源等経費節減に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画 (心身障害者福祉ホーム)

施設名 さくらんぼ

主な事業	長期自立支援	特定相談支援事業
	短期自立訓練	移動支援事業
	緊急一時保護	自立生活援助事業
	レスパイト	

【地域における施設ミッション】

親なき後を見据え、「としま生活」を支えます。24時間365日サービスを提供し住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう支援します。

【重点項目】

◆ 施設1日平均利用者数

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
7.7名	7.7名	7.9名	8.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・令和7年度の大規模改修に向けて、仮施設で過ごしやすい環境が少しでも提供できるよう、豊島区と連携し利用者・家族に丁寧な説明を行いながら移転準備を進め、移転後も支援の充実を図ります。
- ・生活支援拠点事業所として区民のニーズに応え、地域生活が継続できるための緊急時対応など、区立緊急一時保護施設としての使命を果たします。
- ・感染症対策及び災害対策に関する事業継続計画(BCP)を適宜見直しながら利用者の安全・安心につなげます。また福祉救援センターとして体制を整え、障害のある方の避難の受け入れを担っていきます。
- ・利用者の多様な生活状況や障害特性を踏まえ、個々の実情に応じた意思決定支援を行うとともに、社会参加の機会や選択の機会を提供し、自己実現に向けて支援します。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域公益活動としての「福祉なんでも相談窓口」を継続します。近隣福祉施設と連携し生活困窮者支援等、地域福祉力の向上を目指し取り組みます。
- ・豊島区地域支援協議会や東京都グループホーム運営協議会等、様々な協議体に参画し、協働して障害福祉事業の発展に貢献します。
- ・大規模改修に伴い、さくらんぼ祭に替わる企画を準備し、地域の皆様に興味を持って頂けるようなイベントができるよう創意工夫をして取り組みます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員一人ひとりのキャリアに応じた研修計画による計画的な人材育成を図ります。
- ・職員主体による内部研修(OJT含む)を引き続き充実させ、活気ある職場風土の醸成と、非常勤職員を含む職員全員のスキルアップ、利用者の虐待防止・権利擁護の推進に取り組みます。
- ・4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)とKY活動(危険予知)に取り組み、環境整備及び事故防止に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・大規模改修の影響で令和7年9月までは前指定管理期間の延長となり、半期分は令和6年度の指定管理費と同額となります。非常に厳しい収支状況が予測されることから、徹底した省エネ、省資源などコスト削減に取り組み、物価高騰下でも対応できるよう効率的な管理運営に努めます。
- ・改修後の次期指定管理者の指定を目指し、継続して安定的な事業運営ができるよう努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画 (心身障害者福祉センター)

施設名 **さいわい福祉センター**

主な事業	地域活動支援センター事業	生活介護
	都型ショートステイ事業(宿泊)	就労移行支援事業
	日中一時支援事業	居宅介護事業
	就労支援事業	特定相談支援事業

【地域における施設ミッション】

東久留米市における障害者福祉の中核的な役割を担い、障害のある人が住み慣れた地域で必要な時に必要なサービスを利用しながら安心して暮らせるよう支援します。

【重点項目】

◆ 施設1日平均利用者数

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
17.2名	19.9名	17.0名	17.6名

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の人権尊重を最優先とし虐待防止に努め、専門性の向上と高い倫理観を持って支援します。
- ・地域の福祉支援拠点としていつでも相談できる体制を取り必要なサービスを提供します。また、関係機関と連携し課題解決等に向けて切れ目なく支援します。
- ・介護機器やICT等を活用し、利用者への安全・安心な介護・支援や生活支援員の支援力向上、身体的負担の軽減、業務効率化に努めます。
- ・事業継続計画(BCP)の定期的な見直しを行い、防災、防犯、感染症等の対策強化に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・市内で開催される福祉祭りやイベント等の事務局として円滑な運営に努め、地域とのつながりや福祉関係機関との交流を一層深められるよう取り組みます。
- ・地域自立支援協議会や社会福祉法人連絡会など市内の協議会等に参画することで地域課題やニーズを把握し、関係機関と連携・協働して解決に取り組みます。
- ・近隣の学校などの教育機関と連携し、障害に関する啓発活動を継続することで、社会貢献に努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・虐待防止研修に力を入れ、利用者の尊厳が保たれるよう施設全体で取り組みます。
- ・職員がお互いを尊重しあい、コミュニケーションを密に図ることで、安心して働ける職場環境を作ります。
- ・グループワークや事例検討を積極的に行い、支援者としての質を高めていきます。
- ・法人内施設や市内・近隣福祉施設にて交流研修や見学などの機会を設け知見を広げることで、柔軟で多様な考え方を身につけ、支援力向上に努めます。
- ・実習生を積極的に受け入れ、福祉人材育成に努めます。またヘルパーの育成、確保に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・物価高騰対策として省エネ、省資源、再利用などコスト削減に取り組み、適切な予算執行に努めます。
- ・老朽化や経年劣化による修繕等は適宜対応し、中・大規模工事が必要となれば障害福祉課と協議します。
- ・次期指定管理受託に向けた準備を行います。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画 (共同生活援助)

知的障害者グループホーム

		定員	
施設名	アミニティ富士見	6	名
	グリーンハイツ	6	名
	フレンズ・モエ	4	名
	パル	6	名
	それいゆ小川	7	名
	ファーム竹丘 1	6	名
	ファーム竹丘 2	7	名
	風のね	10	名
(上記8ヶ所のバックアップ施設:さやま園)		52	名
施設名	レチオンス巣鴨	4	名
	はなみずき	4	名
	ユーカリ	4	名
(上記3ヶ所のバックアップ施設:さくらんぼ)		12	名
施設名	夢オハナ	6	名
	結オハナ	6	名
(上記2ヶ所のバックアップ施設:立川福祉作業所)		12	名
施設名	リーフベース	10	名
(上記のバックアップ施設:リーフぽけっと)		10	名

【地域における施設ミッション】

一人ひとりの豊かな地域生活を支援します。

【重点項目】

◆ 利用者支援サービスの充実

・令和7年4月より杉並区久我山に2ユニット10名の新規グループホーム「リーフベース」を開設します。保護者及び関係機関等と連携し、スムーズな入寮と安心した生活が送れるよう取り組みます。
 ・個人の尊重・意思決定支援・合理的配慮などに関する研修を通じて、世話人の支援力を高め、人権の遵守・尊重、権利擁護の徹底を図ります。また、利用者の意向を尊重した個別支援計画を作成し支援します。
 ・高齢化や精神的課題など多様化するニーズに対し、様々な社会資源を有効活用しながら、家庭的で豊かな生活が送れるよう支援します。
 ・事業継続計画(BCP)、感染症及び災害時に即応できる体制を見直します。また、定期的に訓練を実施することで利用者自身の災害への意識を高めます。

◆ 地域社会への取組み

・地域社会との協力を強化し、事業運営及びサービスの透明性を目指します。
 ・関係機関や近隣地域との交流を深め、利用者の社会参加と自立促進を図ります。
 ・地域の祭りやボランティア活動に参加し、地域社会の一員として貢献します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・倫理、知識、スキル向上のための研修を実施し、福祉の専門職としての意識と支援力の向上に努めます。
 ・他法人が運営する様々なグループホームを見学し、意見交換や情報収集を行い、幅広い知識の向上を目指します。
 ・快適な職場環境やワークバランスなどを整え、働きやすい労働環境を整えます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・報酬改定後の収支状況や都加算見直しによる影響等を精査し、安定した経営に努めます。
 ・物価高騰(人件費含む)に対し、省エネの実施や適正な職員配置を行います。
 ・杉並区久我山の新設グループホーム「リーフベース」の利用者の受け入れにおいて、関係機関と協力しながら順次体験入寮を実施し、早期の運営安定を図ります。

4. 児童・女性支援系施設の経営

母子生活支援施設、児童養護施設、女性自立支援施設、児童厚生施設を経営します。

1 グループ方針

- ・社会福祉法人としての責務を果たすため、法人の中長期計画の方針に沿って、グループ運営及び各事業所の運営を行います。
- ・利用者の人権や尊厳を守ります。
- ・個別支援計画に基づいて自立を支援します。
- ・安全・安心で快適な生活環境を提供します。
- ・関係機関と連携強化を図り、地域公益活動を進めます。
- ・職員の専門性と資質向上に努めます。
- ・施設における全ての子どもや女性の人権を尊重する観点から、不適切ケア、あってはならない虐待の発生を未然に防ぐ取組みに努めます。

2 グループ目標

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者が安心できる生活環境の中で心のケアを行い、自尊心を高め自己決定ができるよう支援に努めます。
- ・利用者一人ひとりの自立支援は、本人の意向を尊重した自立支援計画に基づき、関係機関と適切に連携します。
- ・防災防災と施設内外の非常災害に備え、定期的な研修と訓練に取り組みます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域の子どもたちへ居場所を提供するとともに、施設行事への招待や遊びを通じて健全な育成支援に努めます。
- ・地域社会資源を開拓し連携することで、地域の公益活動につなげます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・キャリアパスに基づく個別育成計画に沿った職員の育成に取り組みます。また、各種研修参加により専門性を向上し、利用者対応力を高めます。
- ・職員相互のピアスーパービジョンで専門スキルと資質の向上に努めながら、働きやすい職場環境を作ります。
- ・施設実習の学生を積極的に受け入れて当法人の魅力をアピールし、人材確保につなげます。
- ・ハラスメントのない働きやすい職場づくりに努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・サンライズ武蔵野は、引き続き広域利用の内規を区と作成し受け入れを増やします。
- ・サンライズ万世は、補助金の活用とコスト意識の徹底を図り、収支の安定を図ります。
- ・双葉園は、措置費や各種補助金の収入確保に務め、適正な職員配置と予算の執行、及び円滑な事業運営の両立を目指します。また収支差額の増を目指します。
- ・自立ホームいこいは、新たな取組みとして、通所事業開始に向けた準備を進めます。
- ・昭島市児童センターぱれっとは、健全な事業継続をするため、市と適正な運営委託費の調整を図ります。

1 母子生活支援施設

18歳未満の子どもを養育している母子家庭等の女性が、子どもと一緒に利用できる施設です。利用者の心身と生活を安定するための相談・援助を進めながら、自立を支援します。

2 児童養護施設

乳児を除いて、保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童を養護し、あわせてその自立を支援します。

3 女性自立支援施設

性暴力やDV被害者等、困難な問題を抱えた女性への支援(心身の健康の回復のための精神的・医療的支援、また食を通じた健康増進管理、就労支援などの自立促進)を入所時のみならず退所後も継続し、安全・安心な生活を見守ります。

4 児童厚生施設

児童に健全な遊びの場を提供し、健康を増進して豊かな情操を育てるための児童センターとして運営します。

令和7(2025)年度 事業計画 (母子生活支援施設)

施設名	サンライズ武蔵野		
定員	20	世帯	緊急一時保護
			1
			世帯

【施設ミッション】

母と子の「こころ」を支え、安全で安心できる環境を提供し、自立に向けて支援します。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
56.4%	83.6%	79.4%	85.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の意思を尊重した自立支援計画を策定し、関係機関と連携して自立を支援します。
- ・広域の利用者には、措置元、杉並区、施設が連携して利用者の安全・安心な生活を提供します。
- ・生き生きとした日常を送り、将来の目標に向かって進めるように、学童一人ひとりの課題に合わせたきめ細やかな支援を提供します。
- ・利用者の自立を支援するため、補助保育を充実させます。
- ・防犯防災および感染症防止を含む施設内外の非常災害に備え安全計画を策定し、研修と訓練に取り組みます。
- ・利用者が施設内で快適に過ごせるように大規模修繕を進めます。

◆ 地域社会への取り組み

- ・地域のひとり親家庭に向けて電話相談事業を継続します。
- ・アフターケアとして、退所した世帯への訪問等による状況確認、相談支援、退所先関係機関との連携により、退所後の生活を支援します。
- ・地域の事業所と協力して、地域住民向けのイベントに取り組みます。
- ・杉並区社会福祉協議会における地域公益活動に参画し、施設の資源を地域に提供します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・法人のキャリアパス制度に基づき研修に計画的に参加し、キャリアアップと職員の処遇改善に努めます。
- ・職場内研修を実施し、職員が意欲的に業務に取り組める環境を整えます。
- ・実習生を受け入れ、将来の福祉人材の育成を図ります。
- ・ハラスメントの防止に努め、働きやすい職場環境を作ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・杉並区と相談しながら広域利用を進め、利用率の向上を図ります。
- ・措置費、サービス推進費の加算を取得し、収入の増加につなげます。
- ・コスト意識の徹底を図り、支出の削減を行います。
- ・月別予算により適正な執行管理を行います。

【施設・設備整備計画】

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
IHクッキングヒーター交換 (×10)	1,210					大規模修繕 (2カ年計画1%分) PC(×4)	926 800
購入等合計	1,210	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	1,726

(千円)

令和7(2025)年度 事業計画 (母子生活支援施設)

施設名	サンライズ万世		
定員	20	世帯	緊急一時保護
			2 世帯

【施設ミッション】

母と子の「こころ」を支え、安全で安心できる環境を提供し、自立に向けて支援します。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
84.7%	96.4%	94.2%	90.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- 一人ひとりの意思や人権を尊重し、個別自立支援計画に基づく支援を提供します。
- 関係機関と連携を密にし、母子が適切に課題解決に向かうよう支援します。
- 精神的ケアとアタッチメントを中核に据えた親子の関係を支援します。
- 子どもの健全育成を目指し、学習支援と生活支援に努めます。
- 防犯防災及び感染症に対するBCP行動計画の見直しと訓練を行い、利用者が安全・安心に過ごせる環境を提供します。

◆ 地域社会への取組み

- 地域無料心理相談事業を継続して取り組みます。
- 退所者と交流する機会を作り、社会資源と連携を図りながら、退所後の生活を支援します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- 保育士養成校及び教員介護等体験の学生を積極的に受け入れ、人材の確保と育成を図るとともに、職員のスキル向上を目指します。
- キャリアパスに連動した職員個別の育成研修計画を作成し、人材育成に努めます。
- ハラスメントを生じさせない風通しの良い職場づくりに取り組みます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- 年間利用率100%を目標にして、財務基盤の強化を図ります。
- 様々な課題を持つ利用者を受け入れ、利用率向上に努めます。
- 補助金の活用とコスト意識の徹底を図り、収支の安定を図ります。

【施設・設備整備計画】

(千円)							
第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
居室防音改修	3,384	非常用電源	872				
PC(×6)	1,500	ガス給湯器交換(×9)	1,612				
		屋内階段塗装	1,056				
購入等合計	4,884	購入等合計	3,540	購入等合計	0	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画（児童養護施設）

施設名	双葉園					
定員	双葉園	28	名	りんどう(小規模グループケア地域型ホーム)	6	名
	高嶋の家(地域小規模型GH)	6	名	わかば(小規模グループケア地域型ホーム)	6	名
	くすのき(地域小規模型GH)	4	名			
	計	50	名	(昭島市子どもワイライトステイ事業)	2	名)

【施設ミッション】

法令や児童福祉のニーズに基づいて、専門性をもった養育にあたります。
 こどもが権利の主体であることを念頭に置き、こどもファーストで支援にあたります。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
96.4%	93.9%	90.8%	95.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・こどもと家庭のニーズを把握し、自立支援の充実に努めます。
- ・トラウマとアタッチメントに焦点をあて、他職種連携によるトラウマインフォームドケアの視点に立った治療的養育を目指します。
- ・職員の権利意識を高め、子どもアドボカシーの視点を常に持ちながら対応をします。
- ・退所後の孤立を防ぎ、アウトリーチなど積極的介入を行います。
- ・こどもたちに落ち着いた生活環境を提供するため、職員配置を見直し、可能な限りの増配置を行います。
- ・事業継続計画(BCP)の見直しを引き続き行います。
- ・施設内部の修繕を計画的に進めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・昭島市子どもワイライトステイ事業を継続し、地域の子育て支援につなげます。
- ・卒園生をはじめ、子どもたちが地域で安心して暮らせるように、関係機関、団体等と連携します。
- ・専門職の配置を含めた地域支援のあり方について、部会等を通じた情報収集に努めます。
- ・一時保護が長期にならないよう、入所に向けた相談等に積極的に応じます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・OJT、OFF-JT、SDの3つの視点から人材育成を進めます。
- ・研修機会を作り、知識や技術の向上を図ります。また、専門知識の習得とともに、他施設とのつながりも作れる環境づくりにも努めます。
- ・職種や立場の違いはありつつも、職員同士が「相談できる」と実感できる、ハラスメントを生じさせない働きやすい職場環境を作ります。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・施設利用率100%を目指します。
- ・措置費、サービス推進費、補助金等の収入の確保に努め、適正な予算執行と、円滑な事業運営の両立を目指します。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
PC(×10)	2,112						
購入等合計	2,112	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

(千円)

令和7(2025)年度 事業計画 (女性自立支援施設)

施設名 自立ホーム いこい
 定員 40 名・世帯

【施設ミッション】

著しい困難に直面して心身ともに傷付き疲弊した女性に、安心して生活できる環境を提供し、心身の健康の回復を図るための自立に向けた支援を行います。

【重点項目】

◆ 施設利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
29.2%	37.0%	42.4%	39.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の傷付いた心身の健康の回復を図り、自立促進のための生活を支援します。
- ・専門職が協働し、チームケアで質の高いサービスを提供します。
- ・女性の心と体を知り自分を守る力を養えるよう支援します。
- ・食の大切さを生活の基本に据え、利用者の心身の健康が回復し、その後もその生活が継続できるよう支援します。
- ・心の健康回復のために心理的支援を的確に実施します。
- ・感染症予防や防犯防災に努め、安全・安心な生活環境を提供します。
- ・退所者支援について内容の充実を進めます。(アフターケア)
- ・緊急一時保護委託事業では、同伴児童の適切な養育を支援します。

◆ 地域社会への取組み

- ・フードバンクと連携し地域支援に取り組みます。
- ・令和8年度からの通所事業実施を目指し、民間女性支援団体とつながりをもち準備を行います。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・各種研修で専門スキルと資質向上に努めます。
- ・社会福祉を学ぶ学生を受け入れ、様々な経験と学びの場を提供し、人材の確保と育成に努めます。
- ・個々の良さを認め合い、ハラスメントのない職場環境を作ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・新たな加算取得に努め収入増を図ります。
- ・各種補助金の取得を積極的に進めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
厨房空調設備更新	1,400	PC(×4)	800	浴室改修	9,900		
購入等合計	1,400	購入等合計	800	購入等合計	9,900	購入等合計	0

令和7(2025)年度 事業計画 (児童厚生施設)

施設名 昭島市児童センターぱれっと

【地域における施設ミッション】

子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所を提供し、遊びや行事を通して健全な児童育成を目指します。

【重点項目】

◆ 施設1日平均利用者数

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
92.4名	103.4名	141.2名	140.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・遊び・生活・子育ての体験を通し、「明るく元気でたくましく」成長できる交流の場所を提供します。
- ・安全・安心な居場所を提供するため、入館票(氏名・住所・保護者の電話番号)の記載を徹底します。
- ・時代の価値観などを鑑み、常に業務マニュアルを更新して、利用者の利便性を向上します。
- ・事業継続計画(BCP)と安全計画の適時更新と、それに基づく防災防犯訓練を実施します。

◆ 地域社会への取組み

- ・通年行事や季節行事の実施を通して、様々な世代間交流の場を提供します。
- ・昭島市で唯一の児童館のため、昭島市と連携し遠隔地への出張サービスの検討を進めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・1on1面接を実施しながら職員のパフォーマンス向上と、新しい次元での理性と情熱を育成します。
- ・職員一人ひとりが自信と誇りを持って、主体的に業務遂行ができる組織体制を創ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

健全な事業継続をするため、昭島市と適正な運営委託費の調整を図ります。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

5. 医療事業施設の経営

令和7(2025)年度 事業計画 (医療事業施設)

施設名 昭島病院

定床 199 床

【地域における施設ミッション】

地域に根差した病院を目指して、急性期から回復期まで、すべての患者の皆様に安全かつ質の高い医療を提供します。

【重点項目】

◆ 病床利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
80.0%	77.8%	80.6%	77.8%

◆ 目標患者数(1日あたり平均)

入院	外来
176名	330名

◆ 救急車目標受入台数(1ヵ月あたり)

100 台

◆ 利用者支援サービスの充実

・リハビリテーション体制の充実
職員の増員、設備の充実を図り、365日リハビリテーション体制を強化します。

・感染防止対策の継続
新型コロナウイルス感染症に限らず、あらゆる感染症に対し、検温・手指消毒の徹底、飛沫防止対策、換気等に十分配慮した感染防止対策を継続します。
感染情報をリアルタイムに発信し近隣施設を含め情報共有に努めます。

・患者数(入院・外来)の増へに向けた取組み
他院、地域診療所等と連携し、急性期、包括ケア、回復期など病院機能を活かした紹介患者を迅速に受け入れるとともに救急並びに時間外患者を最大限受け入れるよう努めます。
入院から退院、退院後の医療や生活までの相談及び支援をきめ細かく行います。

・医療保護施設としての役割
広報活動を積極的に行い無料低額診療施設として積極的に相談を受け、必要な医療を受けやすい環境を提供します。

・特定健康診査
受診体制の効率化を行い、待ち時間の短縮に努めます。

・訪問診療について
訪問診療を拡充するため、院内の医師および他医療機関との連携を図ります。
訪問リハビリを令和7年度内に開始します。

・療養環境等の整備
令和8年度以降の空調大規模工事を検討します。

・虐待防止の取組み
入院や外来などの全ての患者の人権を尊重する観点から、丁寧な対応に努め、虐待など不適切な扱いの発生を未然に防ぐ取組みに努めます。

◆ 地域社会への取組み(地域医療の充実・地域包括ケアへの取組み)

・地域の医療需要の変化に対応できる地域包括ケアシステムの推進
昭島市、医師会等三師会、昭和郷施設及び近隣事業所と協働するため、担当者間の連携を十分に図ります。

・災害時対応の強化
東京都の「災害拠点連携病院」として、昭島市、昭島市医師会、昭和郷施設との災害対応の連携及び体制強化を図るとともに震災の教訓を生かした実践的な訓練を計画します。BCPの見直しを定期的に行ない災害発生に備えます。

◆ 医療人材の育成と職場環境の整備

・働き方改革の取組み
人員充足に努め、特に、医師・看護師の職場環境の整備及び働き方改革を進めます。

・業務に役立つ研修会の実施
身近な問題をテーマとし、より実践的なスキルの習得を目指します。

・職場環境の改善
勤怠管理システムを整備し、管理体制を強化します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・患者数の確保(救急患者を含む)
入院・外来患者の目標数を達成するため病院や診療所等からの紹介患者の受入れを積極的に進めるとともに、病床稼働の安定を図ります。

・病棟再編の検討
地域の医療ニーズおよび診療報酬改定を見据え、病棟の再編について検討します。

・安定した病棟稼働
各病棟の目標稼働病床数を見える化し情報共有することで、病床稼働率の向上を目指します。

・経費の削減
職員配置および診療材料費、薬剤費の適正化を図ります。

・経営方針・院内情報共有
経営コア会議を実施し、院内の諸課題を抽出し対応します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
自動ヘモグロビン分析計	3,300	電子カルテ用PC(×105)	11,760	ベッド等	12,809	レッグCPM	1,456
在庫管理システム	3,208	冷温水発生機	2,368	高圧蒸気滅菌装置	21,230	移動型手術台(×2)	18,150
自動錠剤分包機	7,073	人事労務管理システム	9,291	RO水製造装置システム		マットプラットホーム(×2)	968
購入等合計	13,581	購入等合計	23,419	購入等合計	34,039	購入等合計	20,574

令和7(2025)年度 事業計画（訪問看護ステーション）

施設名 昭島病院訪問看護ステーション

【地域における施設ミッション】

利用者が慣れ親しんだ地域や家庭で安心して療養生活を送れるよう、看護師が訪問し、看護ケアを提供します。

【重点項目】

◆ 1日平均訪問回数

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度実績	R06(2024)年度見込
12.2回	12.8回	14.5回	14.8回

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者一人ひとりの生活や人生に寄り添い、安心して在宅生活を送れるよう、24時間体制で利用者及び家族への支援を行います。
- ・昭島病院総合支援センターと密に連携し、入院から在宅、在宅から入院へのスムーズな対応と調整に努めます。
- ・昭島病院訪問診療と連携し、総合的な医療ケアサービスを提供します。
- ・ICTツールを活用し、他事業所や多職種間での情報共有に努め、職員間で統一したケアを提供します。
- ・利用者が安全に、安心して継続した支援を受けられるように、BCPの見直し・訓練を定期的に行います。
- ・引き続き、感染症予防対策を徹底し、安定したサービスの提供に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・病院、昭和郷施設及び近隣事業所と協力し多職種連携で地域を支える関係を作り、地域包括ケアを推進します。
- ・居宅系施設及び事業所との委託契約による訪問看護を継続するとともに、介護職員が安心してケアに従事できるよう、24時間体制で対応します。

◆ 看護人材の育成と職場環境の整備

- ・外部研修に積極的に参加し、各々のキャリアアップの取組みを推進します。
- ・ステーション内研修を定期的に行い、スタッフ間のケア統一を図ります。
- ・ICTツールを活用し、業務の効率化を図ります。
- ・ワークライフバランスを考慮し、職場全体で働きやすい環境を作ります。
- ・感染症予防に努め、安心して働ける職場環境を作ります。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・利用率向上の意識を持ち、1日の訪問回数17回を目指します。
- ・職員一人ひとりが収支やコスト管理の意識を持ち、収益の向上・安定した運営に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)							
第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

6. 収益事業の経営

収益事業の売上げは本会の社会福祉事業の経営に充てられます。社会福祉の充実に貢献します。

1. オフセット・活版印刷事業

事業所名 事業局

【ミッション】

顧客に必要とされ信頼される事業者となれるよう、サービス強化と品質向上に努めます。
印刷設備の転換を図り、事業を継続させます。

【行動指針】

- 1 感染症予防と健康管理を怠らず、安全・安心な職場環境を継続します。
- 2 次につながる仕事を心掛け、事業継続を意識した行動力を養います。
- 3 印刷設備を強化し、新規顧客の獲得を目指します。

【重点項目】

◆ 人材の育成と職場環境の整備

・次の作業工程を考えた行動力を養います。
・職員同士のコミュニケーションを促し活気のある職場環境を構築します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・品質を向上させ、既存顧客の満足度を高め、他社へ依頼している案件の受注に努めます。
・コスト削減と作業の効率化で収益の増加に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
オンデマンド印刷機	6,325						
購入等合計	6,325	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2. 不動産賃貸に関する事業

- 1 富士見町駐車場 / 東村山市富士見町2-7-14
旧サンホーム跡地を活用し、駐車場を経営します。
- 2 土地賃貸業 / 新宿区原町3-8
原町ホームの東側外構の一部を、隣接マンションの緑地帯として有償貸与します。
- 3 昭島病院駐車場 / 昭島市中神町1260
昭島病院敷地内で、来院者用駐車場を経営します。
- 4 Premier Court南青山 / 港区南青山1-17-8
旧サンライズ青山跡地を活用した集合住宅を経営します。(サブリース)

7. 社会貢献事業

地域の福祉ニーズに応えるため、本会の自主性、創意工夫による多様な地域貢献活動を行います。

事業名／内容	事業の実施場所																
子ども食堂(相談事業含む) 2025年10月の事業開始を目指します。昭和郷施設が協働して子ども食堂を運営します。また、各施設のノウハウを活用し、地域の窓口として相談事業に取り組みます。 運営 昭和郷内施設が役割を分担し協働運営で実施します。 対象 昭和郷近隣の地域の方を対象とします。(子ども食堂は登録制) 内容 ①食事の提供 ②相談の場の提供 ③居場所の提供 回数 毎月数回定期的に開催します。	昭和郷内																
地域見守り事業 配食事業とともに、地域ニーズに沿った交流会を実施します。(月～金 昼夜15件/日)	サンホーム																
地域交流事業 介護予防教室、栄養教室、ランチ交流会等を実施します。また「福祉避難所」として、炊き出し訓練を実施します。「健康サロン」では、昭島病院の職員による健康チェック、健康体操等を催し、地域交流の場を提供します。	ニューフジホーム、原町ホーム、ゆたか苑 昭和郷高齢者複合施設 さくらホール																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な活動</th> <th>主な会場</th> <th>開催</th> <th>参加予定 (年間延人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防(体操等)</td> <td>東中神地区地域集会室 原町高齢者複合施設 地域交流室 ほか</td> <td>第2水曜 毎週火曜</td> <td>84 480</td> </tr> <tr> <td>認知症カフェ (華道・書道・手芸・イベント等)</td> <td>昭和郷高齢者複合施設 さくらホール 原町高齢者複合施設 地域交流室</td> <td>第2土曜 毎週木曜</td> <td>480 720</td> </tr> <tr> <td>健康サロン(健康チェック・講演等)</td> <td>昭和郷高齢者複合施設 さくらホール</td> <td>第3土曜</td> <td>360</td> </tr> </tbody> </table>	主な活動	主な会場	開催	参加予定 (年間延人数)	介護予防(体操等)	東中神地区地域集会室 原町高齢者複合施設 地域交流室 ほか	第2水曜 毎週火曜	84 480	認知症カフェ (華道・書道・手芸・イベント等)	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール 原町高齢者複合施設 地域交流室	第2土曜 毎週木曜	480 720	健康サロン(健康チェック・講演等)	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール	第3土曜	360
主な活動	主な会場	開催	参加予定 (年間延人数)														
介護予防(体操等)	東中神地区地域集会室 原町高齢者複合施設 地域交流室 ほか	第2水曜 毎週火曜	84 480														
認知症カフェ (華道・書道・手芸・イベント等)	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール 原町高齢者複合施設 地域交流室	第2土曜 毎週木曜	480 720														
健康サロン(健康チェック・講演等)	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール	第3土曜	360														
利用者負担軽減 低所得者の利用料の負担を軽減します。	フジホーム、ニューフジホーム、原町ホーム、ゆたか苑、ひかり苑、昭島病院																
なんでも相談事業 豊島区社会福祉協議会を中心に、参加する社会福祉法人により障害者の相談事業を実施します。	さくらんぼ																
地域の子育て相談事業 育児相談「子育て仲間づくり・くじらっこ」、「児童館出前講座」を実施します。(保育所は各事業所ページを参照)	昭島市児童センターぱれっと、各保育所																
防災拠点 ・防災弱者に対する災害時の一時滞在所機能を果たします。 ・地域の防災活動の中心として、防災拠点型地域交流スペースを開放し、各種講演会及び合同防災訓練を実施します。	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール、同援はいじま保育園																

* その他、各事業所において施設機能を活かした各種相談事業や講習会等を実施します。

* SDGs活動への取組みを検討します。

8. 人材育成事業

事業内容	介護職員初任者研修(通信)
目的	介護の現場で働き始めて間もない方、またこれから介護の分野に携わろうとする方に向けて、介護の基礎的な知識・技術を習得する場を提供し、介護福祉士を目指す人材の育成を目的としています。
対象	介護の業務に従事しようとする方(職員含む)
期間	2025年9月～12月
内容	自宅学習 26時間 / 面接指導 104時間(17日間)
施設実習	14時間(介護実習 8時間 / 在宅サービス提供現場見学 6時間)
定員	12名
主な会場	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール

Ⅲ 職員福利厚生制度ならびに職員研修制度

本年度の職員福利厚生事業、職員研修は、下記により実施します。

1. 永年勤続者表彰

10年勤続、20年勤続及び30年勤続職員の表彰します。

定年退職者表彰

定年退職前勤続10年以上の職員の表彰します。

2. 人間ドック健診の実施

就業規則第2条第2項に規定した職員が、40歳、50歳及び60歳になる年度に人間ドックを受診する際、その費用を助成します。

婦人科検診の実施

女性職員(社会保険加入)が婦人科検診を受診する際、その費用を助成します。

3. 福利厚生センター事業の利用

社会福祉法人福利厚生センターの福利厚生事業(ソウェルクラブ)に加入し、職員の福利厚生の向上を図ります。

4. 職員のメンタルヘルスケアへの取組み

EPA(従業員支援プログラム)に加入し、職員ならびに家族(同居)、退職者、復職者への支援カウンセリング等を行います。

GLTD(団体長期障害所得補償保険)に加入します。

5. 待機児童の一時保育室の利用

定員	5名
場所	昭和郷第二保育園 保育室「にほにこ」

職員の子ども(待機児童)を預かり、一時保育を行います。

6. 企業型「選択制」確定拠出年金制度の加入促進

職員の将来に向けた資産形成をサポートする福利厚生制度を職員へ周知し、加入を促進します。

7. 法人研修計画

研修名／内容	対象	時期
課題別「虐待防止研修」【悉皆研修】	全職員	通年
<ul style="list-style-type: none"> ・支援の場での「不適切なケア」と「虐待」の判断について、行政の立場からの基準を学ぶ機会とします。 ・虐待の基本的な知識とともにグループワークを行うことで、各々の事業所の支援を考えます。 		
課題別「メンタルトレーニング研修」	全職員	4,8,1月
<ul style="list-style-type: none"> ・講師スポーツドクターによる独自の「FLOW理論」を学び、自己のパフォーマンスを最大限に発揮します。 ・応用スポーツ心理学とフローライフスキルの基礎を理解し、日常生活や業務で実践します。 		
課題別「DX研修」	全職員	4,7,8,10月
<ul style="list-style-type: none"> ・階層別、課題別に年4回の研修を実施し、生産性の向上につなげます。 ・DXリテラシーの高い人材を育成し、DXを社内インフラとして持続的な成長を図ります。 		
階層別「1on1コミュニケーションフォローアップ研修」	人事考課者及び人事考課者に準ずる職員	5,11月
<ul style="list-style-type: none"> ・過去3年の人事考課者研修、1on1研修後の実践を振り返り、職員との対話について考えます。 ・組織及び人材マネジメントの知識の習得とロールプレイを行うことで、実践的な研修とします。 		
階層別「基礎研修」	1級職員(非常勤職員含む)	5月
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の職場における役割の認識と、業務を円滑に進めるコミュニケーションスキルの向上を図ります。 ・より良い協働関係を築くため自己理解と他者理解を促進し、互いのバイアスの差異について学びます。 		
課題別「グループコンサルタント研修」	主任以上の職員	6月
<ul style="list-style-type: none"> ・人材を活かすコンサルティングについて、事例を基に育成方法を検討し、共有します。 ・実際に事業所で起きている課題について、対応のレクチャーを受ける機会とします。 		
階層別「中堅研修」	2級職員(非常勤職員含む)	6月
<ul style="list-style-type: none"> ・チームリーダーの補佐としての役割を認識し、業務を円滑に進めるための視点とスキルの向上を図ります。 ・新人や後輩の業務を指導補佐するOJTの技術を身に付けます。 		
階層別「施設マネジメント研修」	3級職員	7月
<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーの立場からハラスメントについて学び、必要な実践力を養います。 ・リスクマネジメントについて、人間の特性等を理解するとともに、実際の事例の法的理解を深めます。 		
課題別「片付け研修」	全職員	8月
<ul style="list-style-type: none"> ・業務の無駄な時間に気づき削減することで、生産性の向上を図ります。 ・見えないコストであるタイムロス無くし、職場環境を改善して仕事力を活性化します。 		

研修名／内容	対象	時期
課題別「プレゼンテーション能力向上研修」	1～2級職員(非常勤職員含む)	9月
<ul style="list-style-type: none"> ・目的を明確にして、説得ではなく相手に合わせた納得できるプレゼンテーションスキルを身に付けます。 ・申し送り、会議等の情報提供を分かり易く、簡潔かつ興味深く伝えるスキルを身に付けます。 		
階層別「新任フォローアップ研修」	2025年度の新卒採用職員	10月
6か月間の職場実践を振り返り、変革時代のビジネスパーソンに求められる能力を再認識し、次の目標へ向けてステップアップを図ります。		
課題別「法人キャリアデザイン研修」	1～2級職員(非常勤職員含む)	11月
<ul style="list-style-type: none"> ・等級基準に基づく法人のキャリアデザインについて学び、求められる職員像の共有を図ります。 ・所属以外のグループの取組みや職能基準を知り、法人やキャリア形成の幅広い理解につなげます。 		
階層別「新任研修」	新卒採用職員・中途採用職員及び正規転換職員	3月
<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として自覚と責任を持って質の高い仕事をするため、本会の理念やビジネスマナーの理解を深めます。 ・本会の諸規程を理解し各種の届出等の具体的な手続きなどを学びます。 		
「管理職候補者研修」	2022・2024年度管理職試験に合格した職員	5,11月
<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度管理職試験合格者は3年目、2024年度合格者は2年目の研修として、経営者に求められる知識(人事管理・経営管理)について学びます。 ・施設経営に関する実践的ノウハウを学び、管理職昇任に備えます。 		
「海外派遣研修」	副主任以上の職員(2名程度)	調整中
新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、海外の情報を収集して実施を検討します。		
「新規採用プレ研修」	2026年度の新規採用予定者	1月
本会の理念と特色及び社会人としての基本的なマナーを学びます。		
「庶務担当研修」 対面／オンライン併用	庶務担当職員	随時
法令や制度改正及び、年末調整等の事務処理の理解を深め、法令遵守につなげます。		
「経理担当研修」 対面／オンライン併用	経理担当職員	随時
<ul style="list-style-type: none"> ・経理事務の理解を深め、効果的かつ適正な施設経営のフォローにつなげます。 ・規程や関係通知に基づく正確な経理事務及び業種別の月次や決算の実務を学びます。 		

グループ別研修計画

グループ別に、年3～4回ほど、各テーマを定め専門的な課題の研修を実施します。また、グループ内だけでなく、他業種、他施設での研修を通して、連携を必要とされている異業種に関する理解を深めるとともに、職員の視野を広げ、その資質の向上を図る目的で、各グループ間交流の研修会も実施します。

・高齢者支援系

研修名／内容	対象	時期
「新任職員研修(フレッシュマン研修)」	新任介護職員	5月
利用者にとって望ましい介護について共通の認識をもち、本会職員としての連帯感を高めます。		
「介護職員初任者研修」	地域住民／無資格介護職員	9～12月
本会の職員が講師となり、地域貢献の一環として、広く地域の介護人材を養成します。		
「全体職員研修」	全職員	10月
「尊厳あるケア」を目指してケアに対する共通認識を持ち、専門的知識・技術を高めます。		
「現任職員研修」	全職員	12月
外部講師によりケアの向上に資するようなテーマで講義を行い、実際のケアの振り返りを通してその向上を図ります。		
「新任職員フォローアップ研修」	新任介護職員	1月
1年間の振り返りを行い、今後の目標を定めます。		
「施設間交換研修」	全職員	随時
本会の他の施設の取組みを学び、職員の資質向上およびモチベーションアップを図ります。		
「他法人交換研修」	全職員	随時
他法人での介護業務を経験することで、自施設のケアの向上に寄与するような学びを得ます。		

・障害者支援系

研修名／内容	対象	時期
「新任職員研修」	新任支援職員	7～11月
基本的な接遇マナーを学び、ビジネスマナー、コミュニケーション技法を習得します。 グループ内の各施設を見学して事業を理解し、本会の組織の一員としての自覚を養います。		
「全体職員研修」	全職員	通年
虐待防止などのテーマごとにリモートを活用した研修を実施し、利用者支援の向上を図ります。 各事業所が同じ研修を受講することで、連帯感とともに職員の資質の向上を図ります。		
「階層別研修」	リーダー層の職員	随時
本会及び他法人の、特色ある事業を展開している施設を見学し、自施設でのリーダーシップを発揮した取り組みへと反映します。		
「施設間人事交流研修」	中堅層の職員	随時
前期・後期に分け人事交流研修を実施します。目的・対象者を明確化し、キャリアデザインに沿った人材育成に努めます。特に中堅職員を中心に、今後の基幹職員の育成の機会とします。		

・保育支援系

研修名／内容	対象	時期
「社会人として必要なモノ」	新任職員及び若年層職員	4月
社会人として仕事の失敗や葛藤、危機感等不安となることに対するの対応や心構えを学びます。研修を通して社会人としての自立を促し、日々の業務に活かします。		
「保育実践プレゼン研修」	全職員	7月
保育グループが目指す保育について、これまでに各園が実践してきたことを発表します。プレゼンを通して保育の方向性を振り返り、また他園の取組みを知ることで、自施設の保育に活かします。		
「保育研修」	全職員	9月
「子どもの主体性について」を再度学び合い、自園の保育にさらに活かします。		
「職員交流研修」	全職員	随時
職員の階層や様々なグループ間で交流の機会を持ち、他園の取組み等を知ることで、職員の資質向上とモチベーションアップを図ります。		
「職員交換保育」	全職員	随時
保育グループ内の他園の見学または交換保育を行い、他園の環境や取組みについて学びながら、自園の保育や業務に活かしていきます。		

・児童・女性支援系

研修名／内容	対象	時期
「利用者を支えるチームづくり研修①」	全職員	5月
コミュニケーションの基盤づくりをメインに人間関係の構築について学びます。		
「利用者を支えるチームづくり研修②」	全職員	6月
健全なチームビルディングについて学びます。		
「利用者を支えるチームづくり研修③」	全職員	7月
第1回および第2回を振り返り、チームづくりに取り組みます。		

IV 評議員会及び理事会

定款の定めに従い、下記の評議員会、理事会を開催します。

1. 評議員会

開催予定	主要議案
2025年 6月	(定時評議員会) 前年度事業報告、決算報告承認／社会福祉充実計画承認
2025年 10月	補正予算承認
2026年 3月	最終補正予算承認、次年度事業計画、当初予算承認
臨時開催	事業運営の必要に応じて開催

2. 理事会

開催予定	主要議案
2025年 6月	前年度事業報告、決算報告承認／社会福祉充実計画承認
2025年 10月	補正予算承認
2026年 2月	施設長等人事
2026年 3月	最終補正予算承認、次年度事業計画、当初予算承認
臨時開催	事業運営の必要に応じて開催

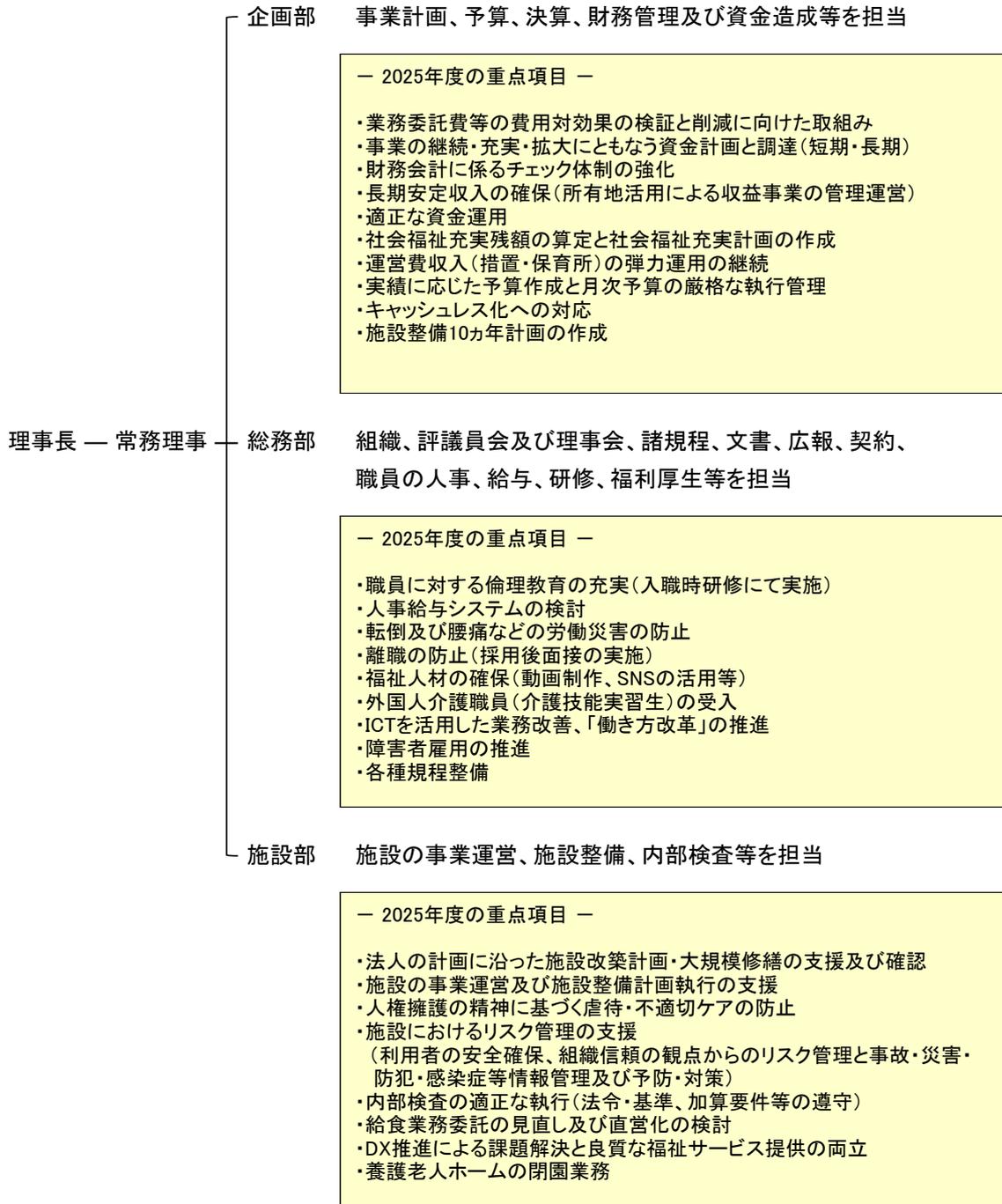
3. 評議員・監事・理事 (2025年4月1日現在)

評 議 員	本山美八郎	堀 茂	岡橋 生幸	飯村 史恵
	田中 康道	吉村 晴美	細谷 訓之	久保田義幸
	折居千恵子	陣野原伸幸		
監 事	鈴木 道生	根本 昌廣		
理 事 長	飯山 幸雄			
常 務 理 事	横山 宏			
理 事	宮崎 牧子	小林 一己	品川 卓正	雑賀 真
	西村 七重	上原 淳	田代 秀之	

V 事務局主要業務

理事長、常務理事を補佐し、本会全体に関わる各種業務の円滑な執行を図ります。

1. 組織（2025年4月1日現在）



2. 内部検査

施設、事業所の運営について、経理規程の定めるところを中心とした、事業全般にわたる内部検査を行います。

VI 施設長会及び各種委員会

本会組織規程に基づき、施設長会及び下記の委員会を設け、それぞれの運営要綱の定めにより、理事長の諮問に答え、あるいは理事長へ意見具申することにより、本会の事業の適正な経営に資するものとします。

1. 施設長会

本会の事業全般にわたる事項について、情報交換し、意見を述べ、事業の実現に向けた協力並びに活動を行い、本会の事業の推進の中核的役割を果たします。

- － 2025年度の重点項目 －
- ・2025年度の法人全体の運営状況を共有し、透明性の高い組織体制を構築します。
 - ・各拠点事業所間の連携強化を図り、安定した組織づくりを行います。
 - ・新型コロナウイルス感染症対策等、事業継続に必要なあらゆるリスク管理に努めます。

2. 総合企画委員会

本会の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について調査、審議し、理事長に意見具申します。

- － 2025年度の重点項目 －
- ・第3期中長期計画に沿って事業を展開するとともに、2025年度における実行可能性と継続性を高め、法人経営の自立性や自主性のさらなる向上を目指します。
 - ・効果的かつ適正に事業を継続するため、2025年度事業の計画的な進行管理を行います。

3. 虐待防止委員会

本会の全体的な虐待防止の施策を推進するとともに、各施設における取組みを支援します。

- － 2025年度の重点項目 －
- ・全ての施設や職員における虐待事実の概念の共有化を進め、虐待の発生を未然に防ぐ各施設の取組みを支援します。
 - ・施設で発生した虐待が疑われる事実を法人として検証する専門の部会を設置します。
 - ・全ての施設や職員に対する虐待の再発防止にかかる取組みを進めます。

4. 人事委員会

施設の幹部職員の任用・降格、職員の表彰・懲戒、採用、人材育成等、人事に関する必要事項について審議します。

- － 2025年度の重点項目 －
- ・隔年に行う管理職試験により選ばれた候補者を対象とした研修を行うことで法人や施設運営を担う人材を育成します。
 - ・法人内研究発表や施設、法人に貢献した職員の表彰について協議します。
 - ・懲戒処分の基準を整備します。
 - ・倫理教育を行うとともに規程や規則に違反した職員の処分を行います。

5. 規程整備委員会

本会の組織、人事・給与及びその他諸制度に関する規程について、検討し整備を行います。

- － 2025年度の重点項目 －
- ・育児・介護休業法の改正に対応し柔軟な働き方ができる制度を目指します。
 - ・副主任手当を見直します。
 - ・65歳定年年齢移行に向けて再雇用職員の待遇を見直します。

6. 人事考課評価委員会

職員人事考課規程に基づき、人事考課に疑義があると判断された場合において、評価が公正かつ的確に行われているかの審査を行います。

7. 研修委員会

施設長、幹部候補職員、中堅職員、事務職員、新任職員等本会の職員の研修に関し、その企画、実施に当たります。

－ 2025年度の重点項目 －

- ・1on1ミーティングとメンタルトレーニング研修を実施し、常に適切な対応ができる組織力と個人力を習得します。
- ・階層別研修を実施し、組織のマネジメントや各々の自己理解を促すことでチーム力の向上を図ります。
- ・課題別研修やDX研修を実施し、場面、能力に応じた課題解決及び生産性向上に取り組みます。
- ・利用者の権利擁護研修を通じて、福祉の本質や法人の原点について振り返り、利用者の安全・安心を守ります。

9. 広報委員会

「同援だより」発行、本会のホームページの更新等本会の広報活動に関し、その企画及び実施にあたります。

－ 2025年度の重点項目 －

- ・法人の活動内容を広く紹介できるように、「同援だより」の発行、その他広報活動を行います。
- ・「同援だより」は、ニューフェイス号、盛夏号、秋季号、新春号の年4回発行します。
- ・本会の事業や福祉の仕事の魅力を東京都をはじめ地域自治体や学校関係者、各関係団体、後援会会員、利用者等に広く紹介します。また全職員へ配布し、本会の多岐に渡る事業について相互理解の促進に寄与します。

10. リスクマネジメント委員会

防災・減災、システムの安全管理の他、施設の経営管理上、多角的な視点でリスクを特定し、損失の回避、低減を図るための対策を講じ、啓発や対策指針案の策定を行います。

－ 2025年度の重点項目 －

- ・様々なリスク(災害、事故、感染症、情報管理、違法行為)を集約・整理し、組織としての方向性・具体的対策について検討するとともに、各事業所における危機管理意識を高め、リスクマネジメント機能の強化を図ります。
- ・各事業所で作成している事業継続計画(BCP)の共有及び更新を行います。
- ・各グループからの提案や検討課題を適宜取り上げ、潜在的なリスクの早期発見、予防解決につなげていきます。

11. DX推進委員会

デジタル技術を活用した業務改革(DX)と情報システムの適切な運用に関する推進を行います。

－ 2025年度の重点項目 －

- ・社会福祉におけるサービスの生産性向上に向け、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進に取り組みます。
- ・デジタル化の方向性を見据えたクラウドネットワークを活用し、計画的にITシステムを構築します。
- ・AIを活用し、ヒューマンエラー防止とスピードアップにより事務負担を軽減し、利用者支援の向上につなげます。
- ・電子申請やドキュメント管理を活用しペーパーレスを推進します。
- ・情報セキュリティのリスクを適切に管理するため、ITコーディネータ及び専門業者との連携を強化します。

12. その他

上記の他、必要に応じ委員会等を設け、本会の事業の適正な経営に資します。